



檢  
查  
寮  
庶  
務  
順  
序

No. 1

1444

1893



414  
A2195  
1



第一款

歳入出概計ノ内譯明細簿ヲ製スル事

大正十一年四月  
大隈侯爵邸寄贈

第一節 入出内譯明細簿原由ノ支

會計ノ一歳ハ甲年七月ニ起リ乙年六月ニ止  
ル而シテ此一歳中收入スヘキノ金穀ハ前年  
歳尾ニ於テ其該額ヲ豫定シ以テ其年白紙ノ  
經費ニ充用スルノ目途ヲ定立シ收入金穀ノ  
科目ト支出金穀ノ該目ヲ歴々列載シテ一  
ノ計表トス之ヲ歳入出見込會計表ト稱シ一  
般ニ公布シ一歳會計ノ一ヲ綱領トス而シテ

歳  
目

其内譯明細簿ヲ製スルハ当寮ノ掌管タルヲ以テ之ヲ調製スルノ順序ヨリ此テ第二節以下ニ掲ク

第二節

歳入出會計ノ目途ヲ定立スル也

内譯明細簿ヲ製スルヤ即チ第二款ニ掲ル租稅寮ニテ精理シタル各廳ノ課計表及ヒ内譯明細簿ニ準據シ歳入出内譯明細簿ノ雜記ニ列載スル科目ヲ示シテ毎科該負ヲ登録シ歳入出見込會計表ノ根基トシテ之ヲ御ニ呈ス

第三節

費額ノ前年ヨリ超過スルモノハ其廳ニ推問スル也

各廳ヨリ送込スル概計表及ヒ内譯帳ノ内、業ノ興廢ニ隨ヒ費額ノ増減スルモノハ其事項ヲ詳記スルニトイヘ凡若事面不明了ニシテ前年ノ實費ヨリ超過スルノ費額アトハ其廳ニ對シテ推問精究シ更ニ内譯明細簿ヲ製シ御ニ呈ス

第四節

歳入ノ金數ノ歳出ヨリ不足スルハ其費額ヲ減削スルノ見込書ヲ作ル也

一般歳入出ノ全額ヲ合計スルニ方リ収入ノ金額支出ノ算額ニ不及シテ不足ヲ生スル等ノ事アレハ各廳事務ノ緩急ヲ量リ費額減削

見込書ヲ作り御ニ呈ス

第五節 歳入出内譯明細簿調整期限ノ定

各廳収入支出ノ概計表ハ地方ノ遠近ニ應  
適送日数ノ遅速アリト雖モ断シテ二月二日  
ヲ以テ各廳ヲ發スルノ程期トスレハ三月三  
十一日ニハ果シテ本省ニ送致スルヲ豫定ス  
ヘシ故ニ右期日ヨリ凡三十日間ヲ以テ明細  
簿ヲ製スルノ限トシ四月二日ヲ以テ御ニ  
上呈スルノ期トス

第六節 歳入出見込表公告期限ノ定

歳入出内譯明細簿ハ御ノ覽閱ヲ經テ主務  
寮ニ付テ歳入出見込會計表ヲ作ラシム  
但此會計表ハ四月二十日ヲ以テ正院へ上  
達スヘキモノニシテ五月十五日ニハ一般  
以テテルヘキモノナリ

第七節 定額及ニ臨時費等ノ額ヲ各廳へ公告ルノ定

見込會計表ハ各廳ヨリ送付スル概計表及ニ  
内譯簿ニ據リ之ヲ沙汰増減シ或ハ増減セ  
ルモ其年交付スヘキ經費ノ如キハ逐件詳記  
シテ公告スヘキモノトス然ニ各廳ニ屬スル

省

ノ經費ハ必ス各廳ニ對シ支給スハキノ額タルヲ明備ニ公達アルヘク猶本省ハ其内譯ヲ詳記シタル簿冊ヲ下達アルヘキナレバ該書類ノ寫ハ本寮ニ接受シ右ヲ根基トシテ歳入出金穀ノ計數ヲ追調精理ス

第八節

歳入出精算内詳明細簿原由ノ及

見込會計表ハ一歳ノ収入支出ヲ豫算シ以テ會計ノ目途ヲ立ルモノナレハ猶實際ニ就キ収出ノ金穀ヲ勘査追調シ其確數ヲ得テ以テ一編ニ存録ス之ヲ歳入出精算内詳明細簿

トナス

第九節

精算内詳明細簿ヲ調成スル期限ノ及

精算内詳明細簿ノ見込會計表ノ該目ニ準據シ實際収出セシ處ノ金穀ヲ追査推求シ前年ノ精算マテ前々年七月ヨリ前々六月ハ翌年一月ヲ期トシ之ヲ調成シテ御ニ呈シ其檢閲ヲ經テ主務ノ寮ニ付シ精算會計表ヲ作ラシメ三月二日ヲ期トシ正院へ上達アルヘシ

第十節

歳入出追調簿ヲ製シ精算内詳明細簿ヲ製スルノ基礎トスル及

精算表ヲ製スルノ基礎ト為シカ為メ歳入出

追調簿ヲ製シ日々收入支出スル處ノ金穀ハ  
見込會計表ノ該目ニ照査シ追算簿及ヒ租税  
月報ヨリ追算簿ハ第六款租税月報見ルハシ登録シ豫  
算ノ金穀ト實際収出スル處ノ金穀ト差引勘  
算シ以テ毎科金穀ノ贏餘不足ヲ調算ス

第十一節

豫算精算ノ比較表ヲ製スル

歳入出金穀ノ概算ト實際収出ノ多寡トハ追  
調簿ニ準據シテ明瞭ノ比較表ヲ製シ第一号  
簿形ノ如  
毎三ヶ月御ニ呈シ御ノ檢閲ヲ經テ正院ニ上  
達シ原書ハ本寮ニ備フ

第十二節

歳入出内譯明細簿及ヒ追調簿等書式  
体裁ノ定

歳入出内譯明細簿及ヒ精算内譯明細簿追調  
簿等ノ書式体裁及ヒ表出スル該目等ハ第二  
三四号雜形例言等ニ詳悉ナレハ之ヲ調成ス  
ルニ方リ然テ此雜形該目ニ準據スルキモノ  
トス而シテ歳入出内譯明細簿ノ如キハ其年  
ノ景況ニ應シテ斟量參査シ御ノ決裁ヲ乞テ  
以テ之ヲ調成ス

第二款

院省使府縣ヨリ送呈スル所ノ収出金穀概計表ヲ調査勘算スル事

第一節

各廳収支概計表ノ原由及ニ送致期限ノ定

一 歲收入支出スル金穀ノ多寡ヲ調理シ歲費ノ目途ヲ確立スルハ會計ノ基礎タルヲ以テ須ク先ツ前年ニ於テ翌年一歲會計上ノ一歳之ニ收出概計表ヲ調成セシメ院省及ニ東京府ハ二月二日ヲ期トシ本省ニ送致セシメ其他ノ使府縣ハ二月二日ヲ以テ其廳ヲ送遣

セシハルノ程期トス

第二節 概計表ニ内譯帳ヲ添付セシムル支

收入支出ノ概計表ハ一歳會計ノ目途ヲ立ル  
モノニシテ尤緊要ナルモノナレハ計表ノ外  
別ニ收出金穀ノ科目及ヒ該額ヲ詳悉登録セ  
シ明細ナル内譯帳ヲ添付セシム  
但歳入出概計表及ヒ内譯帳ノ書式ハ第五  
号雜形ニ詳ナリ

第三節 概計表及ヒ内譯帳ノ大体ヲ示ス支

内譯帳ハ本廳及ヒ部内ノ蔡司支局ノ收入及

ヒ經費ノ該額ヲ各分門シ其品類ニ應シ傍ラ  
ニ前一年或ハ三年五年ノ實額ヲ逐件掲記シ  
毎廳聚集シテ一簿冊トシ科目ヲ逐テ以テ概  
計表ニ登載スルモノトス然レトモ前年ノ實  
額ノ如キハ内譯帳ノニニ掲記スヘキモノニ  
シテ概計表ニハ之ヲ掲ケス

第四節 概計表及ヒ内譯帳ノ租税ニ関スルモノハ租税察  
ニテ精査ノ後本察ニ受付スル支

各廳ヨリ送致スル第一葉ノ收入概計表及ヒ  
内譯明細簿ハ本省ニ送付スルニ隨ヒ一般租  
税ニ関スルモノハ租税察ニテ之ヲ受ケ一歳



收入ノ多寡ヲ精覈淘汰シ各廳ヲ收束シ三月十日ヲ以テ御ニ呈スルノ程期トシ御ノ一閱ヲ了シテ直ニ本察ニ接受ス

第五節

概計表及内譯明細簿ノ内稅外ノ收入ハ本察ニテ調査スルモ

各廳ヨリ送致スル收入概計表及ヒ内譯明細簿ハ租稅ノ金數ト稅外收入ノ金額トヲ併セテ掲記スルヲ以テ租稅ニ關スルモノハ租稅察ノ精査ヲ經ルトイハレ稅外收入ノ金額ハ其簿冊ヲ接受スルニ隨ヒ本察ニテ之ヲ精理シ前十八ヶ月前一年ノ實納高ヲ比照シテ

之ヲ調成ス

第六節

經費概計表及内譯明細簿ヲ調査スル順序ノ支

經費ノ概計表及ヒ内譯明細簿ハ直ニ本察ニ受ケ前五ヶ年三ヶ年或ハ前十八ヶ月前一年ノ實費ト比較照査シ事由金額ノ不明了ニシテ簡シ難キモノハ其廳ニ就テ推問精究スルハ第一款三節ニ掲ルカ如シ

第七節

各廳ノ概計表ハ一歳五業ヲ要シ及ヒ一業ノ計表ヲ差出スルキ期限ノ支

各廳ヨリ送付スル概計表ハ豫算ノ金數ト實際收出スル處ノ金數ヲ比照調査スル為メ一

歳ニ五葉ヲ要スルモノトス而シテ各廳ヨリ  
 送致スルノ期節ニ於ル其第一葉ハ前年ニ於テ翌年一  
 歳ノ収入経費ヲ見積リ本款第一節ニ掲ル期  
 限ノ如ク差出スヘキモノトシ第二葉ハ七月ヨリ  
 九月十月二十日第三葉ハ十月ヨリ十一月二十  
 日第四葉ハ十一月ヨリ十二月二十  
 日ヨリテ七月二十日ヲ期トシ院省及ヒ東京府  
 ハ同日本省ニ送致シ其他ノ使府縣ハ同月同  
 日其廳ヲ發スヘキモノトス

第八節 第二葉以下際計表追調ノ支

二葉以下ノ概計表ハ一ケ年収出スヘキノ概  
 額ヲ比較スル為ノニ差出スヘキモノナレハ  
 租税ニ関スルモノトイヘテ直ニ本寮ニ接受  
 シ其年金穀ノ現実收入スルモノ及ヒ支出ス  
 ルモノトノ算數ヲ把テ歳入出追調簿一即第一  
 第九ノモトニ對照シ歳入出ノ目途高クリ増殖ス  
 ルモノ及ヒ不足スルモノトヲ精査シ以テ入  
 出ノ惣計ヲ調査ス

但諸税及ヒ事業ノ興廢ニ因リ収出金額ノ  
 増減アル片ハ第二葉以下ノ計表ト雖モ必

ス内詳明細簿ヲ添付セシムルヲ則トス

第九節 概計表調査、後知ノ一閱ニ供スル支

ニ兼以下ノ概計表ハ調査勘算スルノ後、卿ノ  
檢閲ニ供シテ本寮ニ備フ

### 第三款

租税一切ノ勘定帳ヲ調査勘算スル事

第一節 租税寮ノ報告ヲ本寮ニ接受スル支

地稅其他租稅寮ニテ徵收スルモノハ同寮ニ  
テ毎一月毎三月ノ報告ヲ製シテ卿ニ呈シ其  
檢閲ニ經テ以テ本寮ニ接受スル程規トス  
而シテ毎一月ノ報告ハ徵收スル金報ノ該額  
ヲ統記シ毎三月ノ報告ハ院省府縣ト年度科  
目トヲ詳明ニ判別スルモノトス

第二節 租税ノ月報ヲ出納寮勘定帳ニ照査スル支

租税月報本寮ニ接受スルニ隨ヒ第四款第一節ニ掲ル出納寮ノ日一突合表ニ照合シ其算額ヲ算定シテ遠脱差違ナキヲ保ス可シ而シテ每一月ノ月報ハ一冊ヲ月報三冊ヲ要スルハ第三節ニ掲ルカ如キ寮ニ止メ一冊ハ直ニ統計寮ニ送致シ每一月ノ月報ハ第三節ニ掲ル手續ヲナス

### 第三節

租税ノ月報ハ二冊ヲ要スルモ

租税月報ハ每一月毎三月二冊ヲ製シ差出スヘキモノトス而シテ每一月ノ報告ハ本款第二節ニ掲ル如ク調査ヲ經テ之ヲ統計寮ニ送

致シ毎三月ノ報告ハ決算證書ヲ

決算證書ヲ交付スルノ

項序ハ第七款ニ詳ナリ交付シ了テ亦タ同寮ニ送致シ其

一冊ハ本寮ニ止メテ元帳トスヘシ但租税ノ

金穀ハ頭収ノ際本寮傳票ノ證檢ヲ經ケルヲ

以テ其算數ノ記存スルモノ無キカ故ナリ

### 第四節

租税ノ未納ヲ督促スルノ理ナリ

一般租税ノ頭ニ收納スルモノハ遺漏ナク之ヲ月報ニ登記シ其収額ノ既ニ確定スルモノニシテ未タ全額皆納ニ至ラザルモノハ若干収ムル處ノ確數ヲ省書ニシ更ニ内納ノ譯ヲ

記載シ或ハ月額ヲ以テ収入スルモノハ何月  
分収入ノ譯ヲ記載ス可キモノトス故ニ其金  
額ノ未納ニ涉ルカ或ハ月額収入ノ全額延納  
スルキハ租税寮ニ對シ督促領収セシムル  
理ニハシ

第五節 租税年報ノ支

一般ノ租税ハ一歳ノ収額ヲ領受シ了ルニ方  
リ租税寮ニ於テ年報ヲ製シテ以テ御ニ呈シ  
本寮ニ接受スヘシトス而シテ此年報ハ其計  
數ヲ調査勘算シテ嚮キノ月報ト照査シ差違

ナキヲ要シテ之ヲ本寮ニ止メ以テ歳入出精  
算表ヲ製スルノ照會ニ供ス

第六節 租税月報年報書式ノ支

租税寮ヨリ送呈スル収入ノ月報年報ノ書式  
及ヒ之ヲ調成スルノ順序ハ第六号雜形及ヒ  
例言ニ詳ナリ

第四款

出納寮ニテ調成スル一般収入支出ノ勘定帳ヲ  
調査勘算ハル事

第一節

収入突合表及ヒ日一表ノ算

出納寮ニテ金穀ヲ顕収スルノ順序ハ各廳ノ  
名称納入ノ事項顛末貨幣ノ種類ト年度トヲ  
甲乙兩部分ス詳明ニシ以テ收入スヘキモノ十  
備ヨ區分スル處ノ突合表及ヒ日一表  
レハ每一月製スル處ノ突合表及ヒ日一表  
合表及ヒ日一表ト稱スルモノハ日々收入ス  
ル金穀ヲ登記スル計表ニシテ則チ勘定帳同  
ノ種ノモモ其事項科目ヲ明別シ以テ登記スヘ

キモノトス

第二節

支出突合表及ヒ日ノ表ノ支

支出ノ突合表及ヒ日ノ表ヲ製スルモ其事款

ヲ記載スルハ收入ノ部ニ異ルナシ

第三節

突合表及ヒ日ノ表ハ收入ト支出トヲ併セラレ表トシ準備ノ収出ハ別表トスルモ

突合表及ヒ日ノ表ハ收入支出トヲ併セラレ一

表トシ只収支ノ畧畫ヲ區分スルノ位準備

ノ収出ハ別表トシテ之ヲ分ツ其調成ノ書式

ハ常用金穀ノ表式ニ異ルナシ

第四節

突合表及ヒ日ノ表ニ請取證書ヲ付シ本寮ニ領取スルモ

常用準備ノ突合表及ヒ日ノ表ハ甲月ニ関ス

ル一般収出ノ金穀ヲ収束シ乙月五日ヲ期ト

シテ調成シ及ヒ金穀ヲ交付スルノ際各廳ヨ

リ出納頭ノ名宛ヲ以テ差出タル請取證書ヲ

添付シ以テ御ニ呈シ御ノ檢閲ヲ経テ本寮ニ

接受ス

第五節

突合表及ヒ日ノ表ヲ照本ニ勤合スルモ

常用準備ノ突合表及ヒ日ノ表ハ本寮ニ接受

スルニ隨ヒ本寮ノ追算簿即チ第六款及ヒ租

税寮ノ月報即チ第三款第一ニ照査シテ該數

事項ヲ精覈ニシ税外収入ノ全額ハ出納寮ヨ  
リ各廳ヘ付與セル請取証書支出ノ全額ハ各  
廳ヨリ出納寮ヘ差出タル處ノ請取証書ノ番  
号ヲ執テ逐件追算簿ニ詳記シ租税ノ金穀ハ  
租税寮ノ月報ニ証書ノ番号ヲ記載スルヲ以  
テ該簿冊ト勘合シ又夕別ニ簿冊ヲ製シテ納  
先請取先ノ各廳ノ名称及ヒ金貨等詳記シ  
以テ其証書ヲ受授交換スルノ證票トス

第六節

經費ノ請取証書ヲ各廳ノ勘定帳ニ照  
合スル也

各廳ヨリ差出タル一般經費ノ請取証書ハ勘

定帳ノ請取元高ニ勘合シテ以テ其多寡ヲ精  
査スヘキモノトス但精査ノ方法ハ第五款第  
十一節ニ詳ナレハ爰ニ掲ケス

第七節

出納寮ノ突合表及ヒ日ノ表ノ決算証書  
ヲ交付スル也

突合表及ヒ日ノ表ハ本寮記存ノ簿冊及ヒ租  
税ノ月報ニ參看精調シ了テ決算済ノ証書ヲ  
作り卿ニ呈シ理財課傳票掛ヲ經テ出納寮ニ  
送致スル順序ヲナスヘシ但此順序ハ第七款  
ニ詳ナレハ爾爰ニ掲ケス

第八節

突合表及ヒ日ノ表ヲ統計寮ニ送致スル也



突合表及ヒ日ノ表ハ諸般ノ順序ヲ了シテ以テ統計寮ニ送致ス

第九節

収出請取證ヲ記載スル簿冊雛形ノ支

第五節ニ掲記スル諸収入支出ノ請取證書ヲ登記スル簿冊ノ書式雛形ハ第十三号ニ詳ナ

第五款

院省使府縣出納勘定帳及ヒ稅外收入勘定帳ヲ調査正算スル事

第一節

出納勘定帳原由ノ事

凡ソ出納勘定帳ハ各廳於テ大藏省ヨリ受領シタル一切經費ノ金穀定額内外常費臨時費等ノ区分ヲ詳明ニシ實際消費ノ正確ナルト計數多寡ノ明亮ナルトヲ詳カニスル為メ出納勘定帳雛形及ヒ勘定仕上ニ緊要ナル定規ニ基キ精察調整シテ之ヲ大藏省ニ送致スル

モノトス

第二節 税外収入勘定帳原由ノ事

税外収入勘定帳ハ各廳於テ現ニ收入セシ金  
穀ノ名目及ヒ其計數等ヲ詳明ニシ誤謬遺脱  
ナキヲ證スル為ノ税外収入勘定帳雖形及ヒ  
其緊要ナル定規ニ基キ精密調整シテ之ヲ大  
藏省ニ送致スルモノトス

第三節 勘定帳種類ノ事

勘定帳及ヒ附属簿冊ノ種類ヲ掲ケル尤ノ如  
シ

院 省

金穀出納勘定帳 総括  
内訳共

未決算金穀仕譯帳

税外収入金勘定帳

開拓使

金穀出納勘定帳 同上

未決算金穀仕譯帳

貸渡金請拂勘定帳

税外収入金穀勘定帳

府 縣

九  
藏  
省

金穀出納勘定帳同上

豫備繰替金仕譯書

未決算金穀仕譯書

貸渡金受拂勘定帳

税外收入金穀勘定帳

第四節

各院省及七東京府勘定帳送致期限ノ事

各院省及七東京府勘定帳ハ每一ヶ月ニ之ヲ  
区分シ甲月ノ勘定帳ハ乙月廿日ヲ限リ本省  
ハ送致セシムルヲ則トス

第五節

開拓使及七京坂二府各縣ノ勘定帳送致期限ノ事

開拓使及七京坂二府各縣ノ勘定帳ハ每三ヶ  
月之ヲ区分シ左ノ期程ニ從テ該地ヲ送遣ス  
ルヲ則トス

七月ヨリ 三ヶ月分 十月廿日限

九月ヨリ 三ヶ月分 一月廿日限

十一月ヨリ 三ヶ月分 四月廿日限

一月ヨリ 三ヶ月分 七月廿日限

四月ヨリ 三ヶ月分 七月廿日限

第六節

院省使府縣支廳ノ向在歳々末ノ勘定帳送致期限ノ事

院省使府縣共每歳最後

院省東京府ハ六月分開拓使及七京坂二府各縣ハ

四月ヨリ六月マテノ勘定帳ハ歳費完結ノ期節夕  
三月月分  
ルヲ以テ第七節ニ掲クル支廳勘定帳編入ノ  
定規ヲ参酌シ本廳ヲ距ル五十里外ニ支廳ア  
ル向ハ第五節ニ掲クル定期ノ外本支廳ノ距  
離百里ニ付日数十日ノ割合ヲ以テ延期スル  
ヲ則トス

第七節

各支廳分局ノ勘定帳ヲ本廳  
勘定帳へ編入期限ノ事

各支廳勘定帳ハ悉ク之ヲ本廳勘定帳へ編入  
共計ス然リテ雖モ懸隔ノ地ニアル支廳ニ至  
テハ本廳勘定帳へ同時ニ編入シカタシ故ニ

本支廳距離ノ遠近ヲ量リ左ノ期程ニ從テ編  
入スルヲ則トス

但五十里以内ノ地ニアル支廳ノ勘定帳ハ

本廳勘定帳ト同一ノ月へ譬ハ支廳一月分  
ノ勘定帳ハ本廳

一月分勘定帳へ編入  
スルノ類ナリ 編入ス

院省

五十里外二百里迄ノ地ニアル支廳甲  
月ノ勘定帳ハ本廳乙月分へ編入二百  
里外五百里迄ノ地ニアル支廳甲月  
勘定帳ハ本廳丙月分へ編入漸次此例

ニ準シ編入ス

開拓使

七二月函館 留前  
八二月根室 東京  
九三月全上

十二三月全上

右七八二月ハ本廳七八九月分九十

十一三ヶ月ハ同上十一十二月分十二

一二三ヶ月ハ同上一二三月分ハ編入

ス

三四四月函館 留前  
五六四月根室 東京

右本廳四五六三ヶ月分ハ編入ス

但樺太ハ七月ヨリ九月迄十月ヨリ

十二月迄毎三ヶ月ヲ併セテ本廳一

二三月分ニ編入シ一月ヨリ三月迄

四月ヨリ六月迄毎三ヶ月ヲ四五六

月分ニ編入ス最樺太ノ外各支廳ノ

分モ道路阻塞ニ寄り前ニ掲ル如ク

編入シカタキ事アレハ其旨ヲ申達

シ次ノ勘定帳ニ編入スル妨ケナシ

トイハズ歳尾ノ勘定帳ニハ合載綜

計シテ遺漏ナキヲ成規トス

大蔵省

府 縣

五拾里外ノ地ニアル各支廳經費勘定  
帳ハ毎歲七八兩月分ヲ本廳七月ヨリ  
九月マテ三ヶ月分へ編入シ九月ヨ  
リ十一月マテ三ヶ月分ハ本廳十月ヨ  
リ十二月マテ三ヶ月分ハ編入漸次  
此例ニ准シテ編入シ三月ヨリ六月マ  
テ四ヶ月分ハ本廳四月ヨリ六月マテ  
三ヶ月分ハ編入セシム

第八節

各支廳分局ノ勘定帳歳尾ノ分ハ  
本廳ト同一ノ月へ編入スル事

支廳勘定帳ハ前節ノ例ニ準據シ本廳勘定帳  
へ編入スト雖モ其年ノ勘定仕上ハ其年限リ  
區分決算シ決テ翌年ノ勘定ニ編入スルヲ許  
サス故ニ歳尾ノ勘定帳ハ院首府縣ハ六月分開拓  
使ハ前節ニ掲載スル  
如シ本廳ト同一ノ月へ編入スルヲ則トス

第九節

公使領事館勘定帳  
送致期限ノ事

外國派出我公使領事館ノ出納勘定帳ハ毎三  
ヶ月ヲ區分シ翌月廿日限リ郵船ノ都合ニヨリ  
此定期ヨリ延縮ス  
ルヲアル  
ヲ許ス該地ヲ差遣スヘシ而シテ外務省於テ  
ハ毎三ヶ月間現ニ到着スル所ノ勘定帳ヲ以

テ別ニ総括セル勘定帳ヲ製シ翌月廿日ヲ限  
リ本省ニ送達スルヲ則トス

第十節

公使領事館勘定帳歳  
尾ノ分送致方ノ事

公使領事館勘定仕上モ各廳ト同ク兩年ハ跨  
ルヲ許サス故ニ最後四月ヨリ三月分  
ハ各館ノ勘定帳悉ク到達スルヲ待テ前節ニ  
掲クル如ク於外務省總括勘定帳ヲ製ス但各  
館ノ勘定簿全備ノ日ヨリ廿日ヲ限リ本省ニ  
送致セシム

第十一節

勘定帳元請高等調査ノ事

前各節ニ列載スル程規ニ循テ出納勘定帳ヲ  
本省ニ送致スレハ本省之ヲ當寮ニ下付ス茲  
ニ於テ先ツ簿冊調成ノ体裁ヲ檢閲シ違謬ナ  
キ片ハ院省東京府ハ前月ヨリ越高及ヒ本月  
ノ支給高使府縣ハ前三ヶ月ヨリ越高同拓使  
ハ前年  
ヨリ越高ヲ  
モ調査ス及ヒ茲回三ヶ月ノ支給高ト曩ニ  
出納頭へ出シタル第壹号請取證書第十二号  
雖形ニ詳  
ナリ及ヒ第二号決算未済證書第十二号  
雖形ニ詳  
ノ高ト照合シ差謬ナキヲ保シ其高ニ突合流  
ノ印ヲ捺シ若シ元受高等誤脱アレハ其旨諒

廳へ達し再調セシムヘシ假令些少ノ數額  
リ氏決テ差違アラシム可カラス

第十二節

消費ヲ検査シ計數ヲ  
勘算スル事

出納勘定帳元受高等差謬ナキモノハ其消費  
ノ當否ヲ検査シ計數ノ多寡ヲ勘算ス其順序  
第十三節以下ニ掲クル如シ

第十三節 官員月俸

官員月俸ハ則チ曩キニ頒布アリシ月俸規則  
及ヒ各廳ヨリ申告スル官員黜陟書ニ照シテ  
毎等人員及ヒ支給高ト其緣由等ニ至ル迄精

密ニ調査勘算ス

第十四節 同上

一般月俸規則ノ外或ハ正院ノ允許ヲ得或ハ  
正院ノ委任ニ因テ該廳限リコレガ變則ヲ設  
立シ及ヒ之ヲ改正スルヲ俸コレアリ此ノ如  
キノ類ニ於テハ正院正院ヲ經ルモノ許又ハ各廳各廳  
ハ委任ヨリ詳悉其事款ヲ本省ニ報告シ本省  
之ヲ當寮ニ達ス故ニ本寮主務ノ者ハ其報告  
ニ準據シテ之ヲ調査勘算ス

但各廳限リ設立セシ定規ノ報告中若シ其



事款各廳長官ノ權外ニ超越正院ノ允許ヲ  
不經モノアルハ其旨ヲ具シ達案ヲ作り  
テ卿ノ決判ヲ請ヒ而シテ達書ト共ニ其報  
告ヲ返還スルヲ例トス故ニ如此ハ正院ノ  
允許ヲ經タル上ニアラサレハ決テ定規ト  
見做スヘカラス

以下  
做之

第十五節 雇外國人給料

各廳雇入外國人給料及ヒ諸手當金等ハ其雇  
入或ハ雇継ヲ許可セシ旨正院ヨリ本省へノ  
命令書

本省ヨリ當寮ニ達スル  
第十四節ノ如ク以下做之

及ヒ右ニ附属

セル雇入條約書ニ基キ每一員其支給方ノ當  
否ヲ検査シ計數ヲ勘算ス

第十六節 官員旅費

旅費ハ則チ正院ヨリ頒布アル旅費定則ニ準  
據シ並旅行巡回其他各種ノ名義ニ就テ支給  
方ノ當否ヲ審査シ其計數ヲ勘算ス

第十七節 同上

各廳於テ旅費日當ノ額ヲ節減シ或ハ變則ヲ  
設立スルノ際本省へ報告スルノ順序第十四  
節ニ異ナルヲ故ニ如此類ハ其報告ニ準據

シテ精密ニ調査正算ス

第十八節 雇外國人旅費

各廳雇入外國人旅費ハ現費給與ノ成規ナレ  
ハ官私出途ノ区々ヲ明辨シ其官給ノ費程相  
當ナルヤ否ヲ精密ニ調査勘算ス

但各廳限リ適宜給與ノ方法ヲ設立シタル  
モノハ其方法ニ基キ調査スルヲ第十七節  
ニ掲クル如シ

第十九節

公使領事館在勤ノ官員  
手當金等

外國派出我公使領事館ノ經費及ヒ其在勤官

員ノ手當金等ハ外務省於テ正院ノ允許ヲ得  
タル條例及ヒ其他ノ定規ニ準據シテ其當否  
ヲ審査シ費程ヲ勘算ス

第二十節 生徒給養

陸海軍文部等ノ官費ニ寄宿スル官費生徒給  
養ニ關スル經費ハ該廳ニ於テ正院ノ允許ヲ  
經タル定規ニ準據シテ調査勘算ス

第二十一節 兵員給養

陸海軍兵員ノ給養被服等ノ經費モ前節ニ同

シ

第二十二節 各府縣捕亡吏給料旅費

各府縣捕亡吏給料及亡旅費ノ如キハ該廳於テ適宜支給方法ヲ設立シ而シテ第十四節ニ掲クル如ク之ヲ本省ニ報告スルヲ例トス如此ハ各其方法ニ基キ給典ノ當否ヲ審査シ賞程ヲ勘算ス

第二十三節 家禄賞典禄

家禄賞典禄等ハ主任ヨリ報告スル所ノ禄高帳ニ照シテ其本額ノ相當スルヤ否ヲ調査勘算ス

第二十四節 社寺禄

社寺遍減給米ハ主任ヨリ報告スル所ノ簿冊ニ照シテ支給額ノ當否ヲ調査勘算ス

第二十五節 徴兵入費

徴兵入費ハ徴兵及付添區戸長ノ旅費雇医用使ノ給料等總テ陸海軍省於テ概定スル所ノ規程ニ準據シテ精密ニ調査勘算ス

第二十六節 懲役場費用

懲役人等ハ專ラ授工服役ヲ主トシ其收入金ヲ以懲役場百般ノ費用ヲ維持供給スルモノ

トス若シ其収入ヲ以テ充用不足ヲ生スルキハ之ヲ官給スルノ成規ナレハ官費ハ勿論収入金ヲ以供給セシ賞額ヲモ精細ニ調査勘算ス

第二十七節 建築等ノ費用

修路架橋治河堤防宮築等ニ関スル費用ハ一事業毎ニ分界ヲ明カニシ譬ハ甲ノ事業ハ若干金ヲ消費シ乙ノ事業ハ若干金ヲ供給スル等明細ノ勘定ヲナスモノトス故ニ其事業ノ分界毎件仕拂ノ當否ニ至ル迄精密ニ點檢ヲ

遂ケ而シテ其費程ヲ正算ス

第二十八節 成規アル雜給

凡ソ成規アルモノ即滿年賜金官員宿代其他

般ニ雜給ハ例規沿革檢査寮ニテ編纂スル一般成規アル文書ヲ類聚

冊スル簿ニ照準シ當否ヲ審査シ計數ヲ勘調ス

第二十九節 實價ニ就キ供給セシ費用

諸物品買上代其他總テ實價ニ就キ供給セシモノハ必ス其需用ノ緣由ヲ辨明シ而シテ賞額ヲ勘算ス

第三十節 臨時支給セシ費用

臨時支給セシ金穀ハ總テ最前其費用ヲ請求スルノ際卿ノ決判アルニ回議書ノ副本又ハ内務省第二類通知書ニ就テ

府縣ノ費用ニ限リ其因故ヲ辨明シ臨時費中成規定額ニ係ルアリテ最前其費用ヲ交付スルノ際本寮ニ回議セシキ

第二十一款第八節ニ掲クル如ク再回ヲ要シタルモノハ本寮ノ簿書ニ就テ辨明シ若シ成規定額ニ開法セス第十五款第二節ニ掲クル如ク卿ノ達ヲ請ケタルモノ其他内務省第二類ノ通知書ハ記録寮ノ簿書ニ就テ辨明ス

而シテ消費ノ當否ヲ審査シ計數ヲ勘算ス

第三十一節 各廳定額金ヲ以供給スヘキ費用正院ヨリ下付スル内訳帳ハ照シテ辨明ス

氏ノ各廳定額金ハ正院ニ於テ之ヲ議定シ其金額及ヒ内訳等詳悉本省ニ達ス當寮之ヲ受

領シ其消費ヲ検査スル常ニ此達書ニ照シテ定額内ノ出途ヲ辨明スヘシ若シ夫レ甲定額ノ剩餘ヲ以テ乙定額ノ不足ヲ補ヒ或ハ官給ノ費用ヲ民費ニ課スル等ノヲアレハ速ニ之ヲ更正セシムルノ順序ヲ為ス

但正院ノ許可アルモノハ非此例

第三十二節 豫備繰替金仕訳書ヲ調査勘算スル事

豫備繰替金仕訳書ハ最前其繰替ノ儀ヲ該府縣へ指令セシ時ニ本省ヨリノ達書本寮起案

本寮ニ収載スル記又ハ内務省ヨリ回付スル録寮ノ副本ニ照ス

六

歳

省

第一類通知書

第十一款第二十八節ヲ参考スヘシ

及ヒ成規ニ照

シテ消費ノ當否ヲ調査シ計數ヲ勘算ス

但豫備繰替金ハ其仕譯書ヲ調査正算シ差

謬ナキヲ保シ而シ現金ヲ交付シ第十一款ヲ参考ス

ハ直チニ之ヲ勘定帳九拂ニ編入シテ決算

スルヲ例トス

第三十三節

未決算金穀仕譯帳ヲ審査勘定スル事

未決算金穀仕譯帳ハ其決算ニ至ラサル緣由

ヲ審査シ計數ヲ勘算スルモノトス最事業ノ

濟否長短ヲ不尙院省東京府ハ每一ヶ月尙拓

使及ヒ京坂二府各縣ハ每三ヶ月月中仕切決算

ヲナスノ成規タルヲ以若シ其決算遲延スル

モノアレハ主務ノ廳ニ推尙督促シテ速ニ決

算セシムルヲ要ス

但外國へ注文物品代價ノ如キ物品到着ノ

上ニアラサレハ事實決算ニ至リカタキモ

ノハ到着ノ上決算セシムルノ例ニ據ルハ

シ

第三十四節

貸付金穀勘定帳ヲ調査勘算スル事

貸付金穀勘定帳ハ其貸付及ヒ返納ノ額主任

ヨリノ報告書ニ照査シテ當否ヲ明辨シ計數ヲ勘算ス

第三十五節

百般ノ出納ハ成規ト定額トニ  
扱テ検査スル事

第十二節以下第三十四節以上ニ掲載スル所ハ勘定帳検査上ニ於テ概子例準ヲ示スノミ  
凡百般ノ出納各其成規アリ或ハ定額アリ随  
テ検査ノ順序モ異同ナキ能ス故ニ如此ハ前  
例ニ倣ヒ各其成規ト定額トニ照準シテ精密  
ニ之ヲ検査ス

第三十六節

勘定帳及明細表等毎件調査勘算シテ  
誤謬ナキハ(檢)印或ハ(正)印ヲ捺スル事

勘定帳内譯毎件明細表通計ニ照査シテ差異  
ナケレハ(正)印ヲ押シ合計差謬ナキモ亦(正)印  
ヲ捺ス明細表毎件規格ニ適當セルモノハ(檢)  
印ヲ押シ計數差謬ナキハ(正)印ヲ捺ス勘定帳  
及ヒ明細表共合計ニハ管主者ノ小印ヲ加押  
ス

第三十七節

經費ノ内事理明晰ナラサル等ノ  
アレハ之ヲ主任ニ推問スル事

經費ノ内事理明晰ナラサルカ又ハ計算上確  
當セサルアレハ毎件其趣旨ヲ詳細ニ附箋シ  
主任ノ官員ヲシテ出頭セシメ逐件之ヲ推問

ス

但京坂二府各縣ノ如キ主任ノ官員出京ナ  
キハ直キニ第三十八節ニ掲ケル順序ヲ為  
ス

第三十八節 同上

前節ニ掲ケル如キ件アリテ主任ノ官員共事  
理ヲ明辨スル能ハサル片ハ其長官ニ對シ書  
面ヲ以テ推問ス

第三十九節

經費上規則ニ違反スルノ條アル片ハ  
其金額決算ニ立カタク旨ヲ該廳ニ達スル事

第三十七節三十八節ニ掲ケル如ク推究ノ上

其事全ク規則ニ違反スルモノハ規則第幾條  
ニ違反スルヲ以テ決算ニ立カタク旨達案ヲ  
具シ卿ノ決判ヲ請ヒ而シテ卿ノ名ヲ以テ該廳  
へ達ス

第四十節

決算ニ立カタク金員ヲ削除スル事

前節ニ掲ケル如ク決算ニ立カタク旨ヲ該  
廳へ達シタル上ハ勘定帳總括ヲ始メ内譯明  
細表ニ至ル迄悉ク其決算ニ立カタク金員ヲ  
削除シ再ヒ計數ヲ案査シテ決算ノ額ヲ確定  
ス



第四十一節

各廳推限外ノ費用ヲ正院ノ許可  
ナクシテ仕拂ヒタシ時ノ處分ノ事

各廳長官權限外ノ費用ヲ正院ノ許可ナクシテ仕拂フモノアルハ其顛末ヲ推究シテ第三十九節ノ順序ニ從ヒ未決算ノ達ヲナス

第四十二節

税外收入勘定帳送致  
期限ノ事

税外收入勘定帳ハ出納勘定帳ト共ニ本省ニ送致スルヲ則トス

第四十三節

税外收入勘定帳ヲ  
審査勘算スル事

各廳ヨリ税外收入勘定帳及ヒ内譯表ヲ送致スレハ先ツ帳簿調成ノ舛裁ヲ點檢シ違謬ナ

キ片ハ各其收入ニ付緊要ナル定規ニ照シテ

審査勘算ス

差謬ナキモノハ第三十六節ニ掲クル例ニ  
準シ檢印或ハ正印ヲ捺ス

第四十四節

税外收入金穀納付ノ事

税外收入勘定帳調査正算了テ差謬ナキヲ保證シ而シテ本月納付スルキ額ハ常用準備收入ノ区分ヲ為シ現金納付ノ回議ヲ付シ各府縣

勘定帳送致前各主任於テ既ニ納付ノ順序ヲ了スルモノハ本節ノ順序ヲ要セス 卿ノ決判ヲ請

ヒ了テ傳票順序ヲナサシム 本納ノ順序ハ本節ニ掲クル如シトモ

モ勘定帳調査正算完結ニ至ラザル前其現金ヲ假納スルハ明治  
七年十二月二十日布達ノ通ケルヘシ

但準備金へ收入スルモノハ國債寮ニ回議

之御決判濟金額等帳記ノ為メ再々同察ニ  
送付ス帳記了テ還送スレハ直チニ傳票ノ  
順序ヲナス

第四十五節 税外收入常用準備区分別ノ事

税外收入金穀常用或ハ準備へ納付ノ區分ハ  
本省於テ決定セシ成規ニ從フヘシ

第四十六節 税外收入ノ納付期限ニ至リ未タ納付セサル片主務ノ廳へ督促スル事

税外收入ノ納付期限ニ至リ未タ納付セサル  
ハレハ書面ヲ以テ主務ノ廳へ督促ス

第四十七節 出納勘定帳及ニ付屬簿冊用紙ノ事

勘定帳及ニ明細表等ノ用紙正院ヨリ領布ア  
ル雛形形第二号ニ違ヒ或ハ他紙ヲ用ユル等  
ノフアレハ其帳簿ヲ該廳へ返却スルノ順序  
ヲナス

第四十八節 勘定帳送致期限ニ至リ延期ヲ申請スル片ノ事

勘定帳送致期限ニ至リ若シ事故アリテ整理  
ニ至リカタキ片其状ヲ具シ延期ヲ本省ニ申  
請スルアレハ當寮之ヲ受領シ其申請已ムヲ  
得サルモノニシテ之ヲ諒セハ即チ承認セシ  
旨回答若クハ指令案ヲ具シ御ノ決判ヲ請ニ

之ヲ該廳へ達スルノ順序ヲ為ス

第四十九節 検査官派出ノ事

勘定帳簿上不明了ノ條多クアリテ推尚スル  
モ事理明瞭ニ至ラサルカ或ハ會計上ニ於テ  
錯雜アルト思考セシ時ハ検査官員該廳へ派  
出シ其計簿ヲ整理シテ速ニ決算ニ至ラシム  
其派出官員處務ノ制限ニ至テハ時ニ臨テ頭  
之ヲ令達ス

但第四節ヨリ第十節マテニ掲クル各廳勘  
定帳送致期限ヲ過キ未タ送致セサルアル

ハ日限リヲ以テ督促シ尚其日限ヲ誤ルハ

ハ本節ニ准シ寮員ヲシテ派出セシム

第五十節

検査官派出スルノ際當時擔理スル  
勘定帳簿ハ同僚ニ交付スル事

本寮官負他方へ派出セントスルニ方テ當時  
擔理セル所ノ勘定帳簿ハ調査正算ノ済否將  
来整理ノ胸算等詳細目録ヲ付添シテ同僚へ  
交付ス

第五十一節 勘定帳整理期限ノ事

各院省使府縣勘定帳ハ其帳簿ヲ受領シタル  
日ヨリ二十五日以内ニ調査正算完結ニ至ラ

シムルヲ例トス

第五十二節

年度ヲ分ツテ勘定帳ヲ調査スル事

各廳ノ勘定帳ハ速ニ整頓ニ至ルヲ要スルカ  
為メニ年度ヲ分ツテ之ヲ擔理セシム故ニ甲  
年ノ勘定帳精査了ラサルノ際本款第七節ニ  
掲ケル如ク歳尾  
ノ勘定帳ハ各支廳ヲ同一ニ編入スルヲ以テ懸遠ノ地ニ  
支廳アル向ハ送致ノ期限ニ随テ延期スヘシ  
ノ勘定帳ヲ送致スルノ期ニ至ル時ハ寮員ヲ  
分ツテ之ヲ精理セシメ編ニ滯滞ノ弊ナキヲ  
要ス

第五十三節

非常ノ出費ヲ要スルノ件アリテ  
別ニ其勘定仕上ヲナスルノ事

非常夥多ノ出費ヲ要スルノ件アリテ別ニ其  
精算勘定仕上ヲナスルハ臨時検査擔當ノ員  
ヲ命スルト雖トモ其検査ノ方法ニ至テハ一  
般勘定帳ヲ照檢スルノ方法ニ異ルナシ

第五十四節

勘定帳整理了テ検査官保證  
文ヲ記シ檢印ヲナス事

勘定帳ノ既ニ整理シ了ルモノハ其帳簿ノ餘  
白ニ勘定仕上相違ナキ旨保證文ヲ記シ検査  
頭及ヒ專掌セル検査官貞ノ官姓名ヲ記シ  
書式第八号而シテ漸次巡閱シ檢印了テ全ク清  
雑形ノ如シ而シテ  
帳トス

第五十五節

勘定帳送致ノ有無ヲ  
弁知スル事

勘定簿冊送致ノ有無ヲ辨知スル為ノ便宜一冊子ヲ設ケ時々此冊子ヲ點檢シ定期ニ到リ送致セサルワレハ第四十九節ニ掲クル順序ヲ以テ之ヲ督促シ強メテ遲延ノ弊ナキヲ要ス

第五十六節

勘定帳簿検査上ニ於テ  
緊要ナル記録ノ事

凡ソ勘定帳簿検査上ニ於テ緊要ナル定規成例及ヒ報告等ハ悉ク之ヲ蒐輯シテ検査ノ根據トス検査官タルモ此記録ニ照準シ百般

ノ出納ヲ調査勘算シ苟モ差謬ナキヲ要ス

第六款

一般收出スル金穀ノ多寡ヲ詳悉シ決算ノ濟否  
ヲ追調シ以テ追算表ヲ製スル事

第一節

租税寮ノ報告ニ照シ租税ノ  
納否ヲ勘算スル事

凡ソ收入ノ金穀ニシテ一般ノ租税ニ係ルモ  
ノハ租税寮ニテ調成スル毎三月毎一年ノ報  
告即ち三三三三詳  
記スルニニ照シソノ納否ヲ考檢シテ  
之ヲ調理勘査ス

第二節

租税外收入及ヒ一般支出ノ  
金穀追算簿ノ事

租税外ノ收入及一般支出スル金穀ハ傳票ヲ

付スルノ節々日計簿ニ記存スルモノナレハ  
即日計簿ヨリ其金員事由ヲ撿ヒ甲乙兩部ト  
準備トヲ分テ而シテ各廳ヲ別異シテ一牒冊  
ニ登録ス之ヲ追算簿ト云

### 第三節

追算簿ニ日計月計  
歳計ヲ作ル事

追算簿ハ其品類ニ應シ帳簿ヲ分テ抄録シ  
以テ追算ノ根蒂トスヘキモノナレハ極メテ  
判明ナルヲ要ス而シテ其登録スル処ノ金穀  
ハ一廳毎ニ日計ヲ作り一日間收出スル処ノ  
該額ヲ束子テ合計帳ニ登記シ日計簿ノ員數

ニ照合シ日ヲ重子テ月計ヲ作り月ヲ累子テ  
歳計ヲ作ルヘシ但日計簿ヨリ登載スルニ方  
リ其膳録セシ吏員ノ小印ヲ員數ノ傍ニ捺シ  
以テ之ヲ保證ス

### 第四節

追算簿ニ部門ヲ分ツ事

追算簿ハ一般出納ノ金穀ニ於テ各種ニ之ヲ  
類別シ毎一日日計簿ヨリ登録スヘキモノト  
ス即其部門ヲ設クル左ノ如シ

### 常用金穀追算簿

### 諸經費ノ部

官省

凡ソ二省ヲ併セテ一卷トシ通計六卷トス

使府縣

凡ソ一使府六縣ヲ併セテ一卷トシ通計十卷トス

此追算簿ハ官省使府縣ノ常費臨時費等一般歳入ヲ以其費途ニ充用スル為メ拂ヒ出ス処ノ金穀ヲ此部中ニ區分登上スヘシ但甲部ニ属スルモノハ其年ノ簿冊

税外收入ノ部

官省

凡四省ヲ併セテ一卷トシ通計三卷トス

使府縣

凡ソ一使府十縣若シクハ十一縣ヲ併セテ一卷トシ通計五卷トス

此簿冊ハ官省使府縣ヨリ租税外ノ金穀ヲ納入スルモノヲ存録ス甲乙丙部ヲ区

乙部ニ属スルモノハ前年簿冊ノ卷末ニ記入スヘキ事トス



分スル前ニ同シ

貸渡繰替及諸返納ノ部

官省

貸渡金ノ部一卷繰替金拂ノ部一卷繰替金償戻及定額金其他経費残金還納ノ部一卷通計三卷トス

但貸渡金ノ返納ハ準備ニ納入スルヲ以テ納ノ部ヲ設ケス

使府縣

前款ノ如ク区分シテ三卷宛トシ通計

六卷トス

此簿冊ハ一般貸渡ノ金穀并借入レ繰替拂并定額其他臨時費等ノ残金ヲリテ償還スルモノヲ記入ス甲乙兩部ヲ区分スル前ニ同シ

交換金穀附誤納下戻ノ部

納ノ部

壹卷

拂ノ部

壹卷

此簿冊ハ米穀ヲ賣却シテ金ニ換ヘ金銀貨幣ホヲ洋銀ニ換ユルノ類總テ交換ニ属ス

ルノ類ヲ記入シ若祖税其他ノモノニシ  
テ納入ノ節名称年度ヲ誤ル事アリテ下  
戾ヲナスノ類モ亦此部ニ記入スヘシ但  
甲乙兩部ヲ区分スル前ニ同シ

合計簿

納拂 卷

此簿冊ハ日計簿ヨリ区分登録スル処ノ  
員數ヲ合計シテ記入シ以テ日計簿ノ員  
數ニ照合スルノ便ニ供ス

準備金追算簿

諸經費ノ部

官省

凡ソ四省ヲ併セテ一卷トシ通計三卷  
トス

使府縣

凡ソ一使府十縣若シクハ十一縣ヲ併  
セテ一卷トシ通計五卷トス

此簿冊ハ前々年以前ノ諸經費及造幣鑿  
鑛其他一般ノ諸費ヲ拂出スモノヲ記入

ス

收入ノ部

官省 三卷

使府縣 五卷

官省使府縣ヲ合付スル前ニ同シ

此簿冊ハ前々年己前ノ地租其他ノ收入

金穀ヲ記入ス

貸渡採替及諸返納ノ部

官省

貸渡金ノ部一卷繰替金ノ部壹卷貸渡

金返納ノ部一卷繰替金償戻ノ部一卷

定額其他經費仕拂殘金返納ノ部一卷

通計五卷トス

使府縣

前件ノ如ク區分シ各二卷トシ通計十

卷トス

此簿冊ハ一般貸渡ノ金穀及ヒ返納金并

肩債償却繰替金拂同返納金等ノ部類ヲ

記入ス

交換金穀附限納下戻ノ部

納ノ部 壹卷

拂ノ部 壹卷

此簿冊ハ米穀ヲ金ニ換ヘ金銀貨幣等ヲ  
洋銀ニ換ヘ三類ト一類ト交換シ二類ト  
四類ト交換スル等ノ類ヲ記入シ若シ地  
租其他ノ金穀ヲ一旦納付シタルモ事故  
アリテ下戻スホノ類モ亦此内ニ記入ス

合計簿

納拂 壹卷

記入ノ順序常用ノ簿冊ニ異ナルナシ

第五節

追算簿ト出納察ヨリ回付スル  
突合表ト照査スル事

追算簿ニ登上スル処ノ收入支出ノ金穀ハ出  
納察ニテ調成スル毎一月ノ突合表ヲ回付ス

ルニ隨ヒ該員事由ヲ勘合シ抵悟註違ナキヲ要ス

第六節

税外收入及ヒ經費ノ金穀決算ニ至ル  
モノハ其負數ヲ追算簿ニ書載スル事

税外ノ收入及經費ノ金穀ハ毎一月毎三月勘定  
帳ヲ製シ各廳ヨリ送達スヘキナレハ此勘定  
ノ精理了リテ交出金穀ノ既ニ結算ニ至ルモ  
ノハ其負數ヲ追算簿ニ書載スヘキ事トス

第七節 追算表ノ事

毎一月收入支出スル処ノ金穀ハ既ニ結算ニ  
至ルモノト否ラザルモノトヲ此追算簿ニ就  
テ精査シ收入支出ヲ區分シ計表ニ表ヲ製ス

之ヲ追算表ト云此追算表ハ甲乙準節及各廳  
ニ関スル收入経費ヲ類別シ一目明晰ナルヲ  
要ス

第八節

追算表進達期限ノ事

甲月間收出シタル金穀ハ乙月二十日ヲ期シ  
必ス追算表ヲ調成シテ卿ニ呈シ卿ノ一閱ヲ  
了スレハ本書ハ本寮ニ止メ別ニ謄寫シテ以  
テ統計寮ニ送付ス

第九節

追算表書式躰裁ノ事

追算表及追算簿ノ書式躰裁ハ第九号雜形ニ

詳ナリ

第七款

收入支出金穀ノ決算證書ヲ交付スル事

第一節 決算證書原由ノ事

凡ソ金穀ヲ收入支出スル必ス其計簿ヲ検査セザルヲ得ス其計簿ヲ検査シ了テ決算違謬ナキヲ證スル為メ此決算證書ヲ交付スルモノトス

第二節 租税決算證書ヲ製スル事

收入ノ金穀ハ租税ト税外トヲ分ツテ二トス其租税ニ属スルモノハ即チ第三款ニ掲クル

如ク租税寮ニ調成スル月報ヲ精査シ現收ノ金穀ハ決算済ノ證書ヲ製シ月報ト證書トニ頭ノ官印ヲ勘合シ以テ卿ニ呈シ卿官印ヲ捺シ本寮ニ付ス

### 第三節

租税決算證書ヲ租税寮ニ送致スル事

決算済ノ證書ハ卿調印了テ本寮ニ付スレハ則テ之ヲ租税寮ニ送致シ而シテ金穀現物ヲ納入セシ時々出納寮ヨリ交付シタル請取證書ハ之ヲ返致セシム

### 第四節

税外收入決算證書ノ事

税外收入ノ金穀モ其簿冊ヲ調成スルノ後決算済ノ證書ヲ作ル等ハ第二節第三節ニ異ナルナシ

### 第五節

租税并税外收入決算未済ノ證書ヲ出サシムル事

租税并税外收入トモ納額ノ既ニ決定シタルモノニシテ其内若干ヲ内納ニスルモノハ其残高ハ期月ヲ限り納入スヘキ歟或ハ追テ納入ルヘキノ旨ヲ證書ニ記載シ検査頭ノ名宛ヲ以テ差出サシム但此證書ヲ差出サシムルハ決算證書ヲ交付スルノ時ニ於テスルヲ則

トス

第六節

收入決算済ノ證書ヲ交付スルハ各廳ヨリ返付スル出納寮ノ請取證書ヲ同寮ニ送致スル事

決算済ノ證書ヲ交付スル時各廳ヨリ本寮ニ返付スル出納寮ノ請取證書ハ毎月一月ヲ收束シテ之ヲ出納寮ニ返致ス

第七節

收入決算證書符号ノ事

收入決算證書ハ出納頭ヨリ租税頭又ハ國債頭又ハ各廳長官へ宛タル領收ノ證書ヲ天号トシ検査頭へ宛タル決算未済ノ證書ヲ納額定スルモノニシテ若干ヲ内納ニシ其残高ハ追テ收入スヘキ旨ヲ記載シタル證書ヲ云フ

人号トシ決算済ノ證書ヲ地号トス渾テ此證書ニハ番号ヲ符シ授受交換ニ便ニス

證書第十号雜

如形シノ

第八節

出納寮へ交付スル支出ノ決算證書ヲ製スル事

出納寮ニテ調成スル一般支出ノ勘定帳既ニ決算ニ至ルモノハ甲部乙部ト準備トヲ区分シ決算證書ヲ製ス其雛形書式ノ如キハ第十一号ニ詳カナリ

第九節

一般支出ノ金穀決算證書ヲ出納寮ニ交付スル事

前節ニ掲ケル勘定帳ト決算證書ト寮頭官



印ヲ勘合シ以テ御ニ呈ス御調印ノ後傳票紙  
ニ付ス同紙之ヲ受領シ而シテ決算證書ハ出  
納寮ニ付シ勘定帳ハ本寮ニ還送ス

第十節

各廳經費ノ決算證書  
ヲ交付スル事

各廳經費勘定帳調査正算完結ニ至ルモノハ  
第三号ノ決算證書ヲ製シ御ニ呈スルノ順序  
ハ第八節第九節ニ掲クル如シト雖モ御調印  
ノ後直々ニ本寮ニ受領スレハ勘定帳ハ本寮  
ニ止メ決算證書ハ主務ノ廳ニ交付ス

第十一節

各廳經費決算未済ノ證書  
ヲ出サシムル事

各廳ハ交付スル所ノ金穀其幾分ヲ決算シ幾  
分ハ未タ決算ニ至ラサル所ハ其決算ノ高ハ  
前節ノ順序ニ循テ決算證書ヲ交付シ未決算  
ノ高ハ他日決算スヘキ旨ヲ記載セシ第二号  
ノ證書ヲ検査頭ノ名宛ヲ以テ差出サシメ他  
日其残高ヲ決算セシメ猶殘高アルモ漸次如  
此シテ完結ニ至ラシム

第十二節

各廳經費決算ノ額ヲ追算簿  
ニ登記スル事

經費決算證書ヲ交付スルニ當リ其決算ノ正  
數及ヒ某年某日某日ニ於テ決算完結シタル

丁ヲ追算簿ニ詳記スル丁第六款第三節ニ掲クル如シ

第十三節 同上

第十一節ニ掲クル如ク幾分ヲ決算シ幾分ハ未タ決算ニ至ラサル中若干ハ某年某月某日ニ於テ決算シ若干ハ決算未済ナル丁ヲ詳ニ追算簿ニ登記スルヲ要ス

第十四節

各廳經費決算證書ヲ交付スル所請取證書及ヒ決算未済ノ證書ヲ還付スル事

經費決算證書ハ曩ニ其金穀ヲ各廳ニ交付スルトキ出納頭ノ名宛ヲ以テ差出シタル第壹

号ノ請取證書若シクハ決算未済ノモノニシテ検査頭ノ名宛ヲ以テ差出シタル第二号ノ證書ト共ニ其主任ニ還付ス

第十五節

各廳經費決算證書等符号ノ事

一切支出ノ金穀ハ出納頭ノ名宛ヲ以テ差出シタル受取證書ヲ第一号トシ未決算ノ証書ヲ第二号トシ決算済ノ証書ヲ第三号トシ渾テ此證書ニハ番号ヲ符シ授受交換ニ便ニス

證書等十二号  
雛形ノ如シ

第十六節

一般收入支出ノ決算證書ヲ交付スルニ當リ其交付スル旨ヲ主務ノ官廳ニ通知スル事

收入支出決算證書ヲ交付スルニ當リ先ツ  
頭ノ名ヲ以テ其交付スヘキ旨ヲ主務ノ官廳  
ヘ通知シ請取人ヲ出サシメテ後ニ證書ヲ交  
付スヘシ若シ未決算ノ額アラハ其決算未済  
ノ證書ヲ出サシムルモ亦同時ニ於テス

第十七節

一般收入支出決算證書ヲ交付スルニ  
方リ受領ノ證書ヲ徴スル事

此證書ヲ交付スルニ當リ主任領收ノ證書ヲ徴  
セサルヲ得ヌ故ニ豫テ簿冊ヲ裝釘シ收入ハ  
天号地  
号人号ト区分シ支出ハ  
一号ニ号三号ト区分ス 其交付スルニ當リ月  
日ト證書ノ符号トヲ詳記シ請取人ヲシテ記

名調仰セシム

帳簿書式第十  
三号雛形ノ如シ

第八款

一切收入経費ノ金穀調査正算完結ニ至ルモノ  
ニ就テ明細表ヲ調整スル事

第一節 收入支出明細表原由ノ事

凡ソ收入支出ノ明細表ハ勘定帳簿検査上ニ  
於テ毫毛謬違ナキヲ保證シ且收入及ヒ支出  
ノ額ヲシテ一目瞭然タラシメンガ為メ大藏  
省使府縣勘定帳ノ既ニ調査正算完結ニ至  
モノニ就テ之ヲ精製シテ正院及ヒ大藏卿ニ  
進達スルモノトス

第二節 經費明細表調製ノ事

經費明細表ハ各廳勘定帳諸般ノ順序ヲ經全ク清帳ニ歸セシモノヲ以テ常用準備ヲ始常費臨時費及ヒ定額内外ヲ区分シ費目別ニ而シテ前月ヨリ越高本月ノ元請高拂高残高等ヲ詳明ニシ官省使府縣各別表トシ第十四号雛形ニ準拠シテ之ヲ製調ス

第三節 收入明細表調製ノ事

收入明細表ハ租稅察報告及ヒ各廳稅外收入勘定帳諸般ノ順序ヲ經全ク清帳ニ歸セシモノヲ以テ甲部乙部準備ヲ区分シ收入ノ名目ヲ明カニシ官省使府縣ヲ併セテ一表トシ第十五号雛形ニ準シ之ヲ製調ス

第四節 明細表ヲ製スル先ツ下帳ト下表トヲ調整スル事

明細表ヲ製スル先ツ勘定帳ヨリ類聚抜萃シテ下帳ト下表トヲ製シ警查勘算違謬ナキヲ保シ而シ淨書ニ付ス

第五節 明細表ハ四葉ヲ要スル事

明細表ハ常ニ四葉ヲ製スルヲ要ス其一葉ハ本寮ヲ止メ其一葉ハ勘定帳及ヒ内譯帳トシ

二 卿ニ呈之而ノ他ノ二葉ハ正院ニ上達ス

第六節 明細表調成期限ノ事

明細表調成ノ期限ハ勘定帳ホ全ク清整ニ帰  
シ始メテ其帳簿ヲ受領セシ日ヨリ凡ソ十五  
日間ヲ定度トス

第七節

一歳ノ支出及ヒ税外收入合計表并  
總計表ヲ調成スル事

翌年ニ至リ前年々末ノ官省東京府ハ六月分  
使府縣ハ四月ヨリ六  
月マニ三 明細表調製完結ニ至ルヲ待テ第十  
ケ月分  
六号雛形ニ準拠シ官省使府縣限リ前一歳ノ  
経費合計表ヲ調製シ又之ヲ總括共計シテ第

十七号雛形ノ如ク總計表

各廳前一歳ノ経費  
ヲ總計シタルモノ

リヲ製シ共ニ正院及ヒ卿ニ進達ス第五節ニ  
掲クルル  
各葉ヲ製  
スルヲ要ス

但收入合計表及ヒ總計表共調成ノ順序本

文ニ異ナルナシ

第九款

造幣鑿鑄製糸製作鐵道電信其他總テ殖益収入  
上ル事業ニ関スルモノ其資用ト収入トノ計數  
比較表ヲ勘査スル事

第一節

比較表原由及テ送致期限ノ事

凡ソ増殖収入アル事業ニ関スルモノハ其資  
用ト収入トノ金額ヲ比較勘査セサルヘカ  
ス故ニ資用収入判明ナル比較表ヲ製シ每三  
ヶ月ヲ區分シ翌月二十日限リ各廳ヨリ送致  
セシムルモノトス

第二節 比較表書式体裁ノ事

此比較表ハ各事業ニ因テ其体裁一様ナラス  
其調製ノ方法ハ第十八号雛形ニ詳悉スレハ  
爰ニ贅セス

第三節 比較表調査ノ事

比較表ヲ送致スレハ表中資用ノ金額ハ經費  
勘定帳収入ノ金額ハ税外収入勘定帳ノ内各  
其金額ニ照シテ差違ナキヤ否ヲ調査勘案ス

第四節 合計比較表ヲ調製上達スルノ事

資用収入ノ金額差異ナケレハ其比較表ヲ根

拠シ第十九号雛形ノ如ク各事業資用収入  
ノ金額合計比較表ヲ製調シ卿及正院ニ上  
達ス

但各廳ヨリ送達スル比較表ハ合計比較表  
ニ介添シテ卿ニ上呈ス御展覧ノ上之ヲ當  
寮ニ止ム

第五節 一年總計比較表ヲ調製スルノ事

毎三ヶ月ノ比較表一周年ノ分全備スルニ至  
テ第二十号雛形ノ如ク各事業一周年資用収  
入ノ金額總計比較表ヲ調製シ卿及正院へ上



達ス

第十款

各廳備品ヲ始メ諸物品有高帳ヲ調査スル事

第一節

物品有高帳原由及送致期限之事

凡ソ各廳所有ノ機械書籍木石其他日用ノ薪炭筆墨紙ホ一切ノ物品ハ元高及ヒ消耗高残高ホヲ證明スル為メ毎半ケ年ヲ區分シ第二十一号雜形ニ準拠シテ有高帳ヲ製シ前半ケ年分ハ一月二十日後半ケ年分ハ七月二十日限リ該地ヲ發遣シテ本省ニ送致スルモノトス

大藏省

第二節

物品有高帳ハ概子其物品ヲ類別シテ別冊ニ調成スル事

物品有高帳ハ概子其物品ヲ類別譬ハ器械書籍籍木石ホ

類分ツノ調成シテ送致スルヲ例トス

第三節

物品有高帳ニハ其物品ノ代價ヲ記載スル事

物品有高帳ニハ其物品ノ代價ヲ記載シ而シ

テ其代價ニ於ル該應定額金ヲ以テ供給セシ

歟或ハ額外ノ出費ナル歟ヲ區分セシム

第四節

物品有高帳ヲ調査勘業スル事

物品有高帳ハ精密ニ調査勘業シテ差謬ナキ

ヲ保證シ而シテ之ヲ御ニ呈シ御一閱了テ本

寮ニ存置ス

大蔵省

第十一款

定額アル金穀ヲ支給スルモ

第一節 定額金穀ノ原由ノ事

凡ソ定額ト名ケタル金穀ハ各廳ヨリ送付ス  
ル經費ノ概算ニ據リ歳入金穀ノ多寡ニ比照  
シ具サニ許量参査シテ以テ一歳支給スヘキ  
ノ該額ヲ確定スルモノナレハ其實費ヲシテ  
該額ヲ超過セシメサルヲ則トス

第二節

定額金ヲ支給スル正院ノ達書ニ據テ當番ヲ  
誓查スルモ

各廳ノ定額金ハ第一款ニ掲ル如ク毎歳正院

九  
藏  
書

ニ於テ之ヲ議定シ金額及ヒ其内譯ヲ詳記シ  
タル簿冊ヲ保セテ本省ニ達ス本省之ヲ當察  
ニ下付スルヲ則トス故ニ定額金ヲ支給スル  
常ニ此簿冊ニ照シテ其當否ヲ稽査スルヲ要  
ス

但事故アリテ定額金ヲ増減スルヲアルハ  
其金額及ヒ内譯等本文ノ順序ヲ以テ當察  
ニ達スルヲ例トス

### 第三節 事業ニ關スル經費目途金ノ支

堤防建築其他總テ工業ニ關スル經費ハ一歲

支給スヘキ目途ノ金額ヲ各專掌ノ諸省ニ交  
付ス而シテ正院於テハ每歲支給スヘキノ額  
ヲ議定シ及ヒ内譯等ヲ本省ニ達スル等ノ順  
序ハ總テ前節ニ異ルナシ

### 第四節 各院省及ヒ東京府定額金數交付期限ノ支

各院省及ヒ東京府定額金ハ一歲ノ金額ヲ十  
ニケ月ニ分賦シ前月二十二日ヨリ二十五日  
マテニ之ヲ交付ス 宮内省定額米  
モ本文ニ全シ

### 第五節 全上

毎月分賦ノ金算ハ百位ニ止ノ而シテ拾位以

下ノ端數ハ六月ニ至リ一總共計シテ之ヲ文  
付スハ宮内省定額米

第六節

各院省所轄支廳分局へ回送スル定額金  
標上ケ渡ノ支

各地方所在ノ各鎮臺學校鑛山電信鐵道ヲ始  
ノ各院省總テ支廳分局等へ回送スル定額  
金ハ距離ノ遠近ヲ量リ定額金繰上ケ渡ノ期  
限ヲ概定スル左ノ如シ

但海軍艦内ノ經費定額金ノ交付モ本文ニ  
準ス

一 五十里以内ノ地ニアル支廳分局ハ本廳ノ

定額金交付ノ期限ト異ルヲナシ

一 五十里外二百里マテノ地ニアル支廳分局

ハ六月ノ定額金前月十日マテニ各其本廳  
へ交付ス

一 二百里外五百里マテノ地ニアル支廳分局

ハ本月ノ定額金前々月十日マテニ各其本  
廳へ交付ス

第七節

各院省及東京府定額金數交付ノ順序

各院省及東京府定額金ヲ交付スルノ順序

左ノ如シ  
宮内省定額米交付ノ順序  
モ本文ニ異ルナシ

第一 各院省及東京府ヨリ定額金ノ交

付テ請求スルノ申牒及ヒ請求方達

書第ニ十二号如シテ送致スレハ先ヨ其

申請ノ額相当ナルヤ否ヲ本額ニ照

查ス

第二 申請ノ額相当ナレハ之ニ正印ヲ捺

シ而シテ其申牒ニ管主ノ者捺印シ

請取方達書ヲ添テ頭ニ出ス頭捺印

了テ其交付スヘキ金額及ヒ月日ヲ

定額簿ニ鈔録シ其簿冊ト請取方達

書トノ金額ニ調査ノ印ヲ勘合シ了

テ傳票ノ順序ヲナサシム

第三 申牒ノミヲ送致シ請取方達書ヲ十

シ来ラサルモハ則之ヲ可差出ト

ノ達書用紙第ニ十三号如シヘ其金額ヲ改

記シ申牒ト達書トノ金額ハ察頭勘

合ノ印ヲ捺シ其達書ヲ主任ノ院省

等へ送達ス

第四 前項ノ達ニ因テ主任ノ院省等請取

方達書ヲ回送スルハ第三項ノ順序

第五 從テ傳票ノ順序ヲテサシム  
若シ申請ノ額相違ナラサルモノハ

其回答案ヲ具シ卿ノ名ヲ以テ之ヲ  
其院省等へ達ス

第六 省中ノ寮局ニ關係スルモノハ其寮  
局ニ回議ス

第七 準備金ヨリ支出スルモノハ回議了  
テ金額事由等帳記ノ為ノ再ニ國債

寮ニ付ス同寮帳記シ了テ本寮ニ還  
付スレハ即ケ第二項ノ順序ヲテ

シム

第八節

定額金ノ交付事トシテ成規ニ異ルモノアルハ  
ハ其考案ヲ具スル等ノ事

定額金交付ノ順序ハ第七節ニ掲ル如シト

モ事故アリテ交付ノ期限等成規ニ異ルモノ

ハ考案ヲ具シ卿ノ決裁ヲ經サレハ一切交付

セサルヲトス

第九節

公使領事館經費定額金交付期限ノ事

海外派出我公使領事館ノ經費定額金前半額

ハ前年三月中ニ後半額ハ本年九月中ニ之ヲ

外務省ニ交付シ各館ニ送致セシムルヲ例ト

ス

第十節

開拓使定額金<sub>應</sub>并交付期限ノ更

開拓使ノ定額金ハ明治二己巳年ニ於テ始テ之カ  
基礎ヲ立同三庚午年ニ於テ之ヲ創定シ同五  
壬申年再々該額ヲ確定シ同年ヨリ十ヶ年間  
ヲ期シ此他同使管内ニテ徵收スル諸租税ヲ  
保セテ經費ニ充ツ之ヲ交付スルノ期限ハ一  
歳ノ金額ヲ折半シ其半額ハ前年四月ノ額ハ  
其年十月トシ諸税ハ後節ニ掲ル順序ヲ經テ  
之ヲ交付スルヲ例規トス

第十一節

開拓使徵收ノ租税等經費ノ内ノ更  
スル更

開拓使<sub>應</sub>庚午年定額金定立以前ニ興ル租税其  
他税外収入ノ金穀等ハ每三ヶ月ヲ束ニ之ヲ  
本省ニ收入シ其金穀ハ經費ニ先用スル為ノ  
更ニ同使ハ交付スルヲ例トス

但庚午年以後ニ興ル新税ハ本使ノ經費ニ  
支給セサルヲ例規トシ賍贖金ハ司法省ヲ  
經テ收入シ而シテ本文ノ順序ヲナス

第十二節

開拓使定額金交付順序ノ更

開拓使定額金ヲ交付スルハ第七節ノ順序ニ



異ルナシ

但第十一節ニ掲載スル租税等ヲ経費ノ内  
ニ交付スル片ハ其請求ノ額ト租税其他ノ  
納額ト相当スルヤ否ヲ主管ノ寮局ニ照會  
シ相当ナルモノハ本文ノ順序ヲナス

第十三節

開拓使各支廳ノ定額金回送ノ夏

開拓使所轄各支廳ノ経費ハ各其距離ノ遠近  
ヲ量リテ支派回金シ勘定帳調成ノ期ニ付  
ナカフニシメシムルヲ要ス

第十四節

各府縣定額金交付期限ノ夏

各府縣ノ定額金ハ本年ノ額ヲ前年四月中ニ  
請取ガテ申請シ其半額ハ前年五月中ニ交付  
シ残余ノ半額ハ本年十月中ニ申請シ十一月  
ニ至テ之ヲ交付スルヲ期トス

第十五節

各府縣定額金ヲ交付スル順序ノ夏

各府縣ノ定額金ヲ請取ヘキ申請アルハ第二  
節ニ掲ル内譯簿ト照査シテ当否計數ヲ調理  
勘算シ相当ト認ル時ハ預ケ米金出頭寮ノ專  
理スル處ニシテ租税ノ金穀ヲ一旦上納シ其  
金額ヲ出納寮ヨリ各廳ヘ送ケ置諸経費ニ充  
用スルモノ内ヲ以テ交付ノ順序ヲナス

但稟申ノ額相当ナラザルモノハ本款第七節ノ五項ニ照準シテ之ヲ廢弁ス

第十六節 府縣ニ預備金ヲ置ク事

京阪二府各縣豫備金ハ初頭交付ノ順序ハ定額金ニ異ルナシト雖、以後ハ毎歳之ヲ各廳ニ備置ラ成規トス

第十七節 定額金ヲ定期以前ニ交付スル事

定額金ノ内事業ノ緩急ニ因リ定期以前ニ交付スルノ如キハ正院ノ許可ナケレハ應付スハカラス若シ其許可ヲ得ルモノハ第八節ノ

順序ニ據テ之ヲ交付ス

第十八節

各院省使府縣其他一般ノ定額金交付ノ定期ニ至リテ請求セザルモノハ之ヲ該廳ニ督促スル事

各院省使府縣其他一般ノ定額金交付ノ定期アルモノハ其期ニ至リテ未タ該額ヲ請求セザルハ乃チ該廳ニ督促スルヲ要ス

第十九節

定額アル費用ヲ交付ノ際調査勘算ノ時日ヲ限ル事

凡ソ定額アル費用ヲ交付スル強クテ遲滞ノ弊ナキヲ要ス故ニ各廳需要ノ緩急ヲ辨知シ主務ノ負其請求書ヲ查收スルノ日ヨリ七日間ヲ出スシテ調査勘算シ予ルヲ則トス若シ

夫レ事故アリテ限日内精整ニ至ラサルモノハ必ス其由ヲ具陳ス

第二十節

定額簿ノ支

以上各節ニ掲ル一切定額アル費用ハ一歳文付スヘキ額ト毎月文付セシ額ト将来文付スヘキ額トヲ明瞭ナラシムルカ為メ定額簿ヲ編製シ第二十四号雛形ニ倣ヒ日々文付ノ金數ヲ詳記シ每一ヶ月之ヲ通計シテ誤脱ナキヲ要ス

第二十一節

定額アル費用文付ノ既済未済ヲ詳明ニシ月報表ヲ製スル支

前節ニ掲ル一切定額アル費用ハ文付ノ既済未済ヲ詳明ニシ院省使ト府縣トヲ分テ第二十四号雛形ニ準シ月報表ヲ製シ之ヲ卿ニ呈ス

第二十二節

各廳額外ノ常費ヲ文付スル順序ノ支

各廳額外ノ常費モ一歳支給スヘキノ該額ハ内譯明細簿内訳明細簿ヲ正院ヨリ本省ニ達スルハニ判本款第二節ニ掲ニ定額費ニ全シ明ナリト虽モ此經費タル事業ノ緩急ニ應スヘキモノニシテ素ヨリ定額ノ期節ヲ逐テ文付スヘキカ如キニアラス而シテ此金額ニ於ル或ハ正院ノ知達ニ因リ文付スヘキアリ額外管轄或ハ各廳ヨリ直ニ費等ノ類

稟請スヘキアリ  
家禄賞典禄其他定則アル費用ニシテ額外常費ニ属スモ 故ニ此ノ如キハ常ニ正院ノ達書若クハ各廳ノ稟申ヲ受付スルニアラサレハ之ヲ交付スヘカラス

但各府縣額外常費ノ内棄兒養育米等ノ如キハ各廳ノ請求ニ應シ定額ト全ク半ケ年ツ、ヲ支給スル妨ケナシトス

### 第二十三節 各廳額外ノ常費モ内訳簿ニ照査スルモ

前節ニ掲ル正院ノ達書或ハ各廳ノ稟申アル時ハ本察又ハ主務ノ各寮ニテ議案ヲ具シ卿ノ決裁ヲ經テ交付ノ順序ヲナスヘシト雖モ此際ニ方リテハ毎事毎件必ス例規定格ヲ逐々精密ニ調理シ而シテ内訳明細簿ニ準據シテ金額ノ程度ヲ照査スルヲ要ス

### 第二十四節 各府縣豫備ノ操替金ヲ支付スル順序ノ支

各府縣經費ノ内内務省所管ノ罹災救助及ヒ窮民救助孝子義僕節婦等ノ賞賜金等ハ其廳ノ申請ニ寄リ豫備金ノ内ヲ以テ操替置取束大蔵省ヘ請求スヘキヲ指令シ決議簿冊ニ一類一類ノ達書ハ第二十ノ達書ヲ付シ本省ニ送致シ之ヲ本察ニ受クレハ此書冊ニ就テ金算事項ヲ豫備操替元帳此元帳ハ豫備金ヲ以テ操替置クヘキ旨ヲ指令シタル後請求方ヲ申請スルアレハ此簿冊ト照査シ当否ヲ勘合スル為ノ檢査寮ニテ製成スルノ詳記シ通知書ト元帳トニ(調査簿冊ヲ云フ)

ノ印ヲ勘合シテ通知書ハ本寮ニ止メ決議簿  
冊ハ本省ヲ經テ内務省ニ返致シ示後各廳ヨ  
リ請取方ヲ請求スル時ハ此元帳ト照查シテ  
交付ノ順序ヲナス

但本省所管ノモノニシテ豫備金操曆ノ指  
令ヲナス片ハ其金負事項ヲ元帳ニ記入ス  
ル等總テ本文ノ順序ニ照準ス

第二十五節 臨時費用ノ經費ヲ交付スル順序ノ更

臨時費用ノ金穀ヲ交付スル本省所管ノモノ  
ハ主務ノ該寮ニテ諸般ノ順序ヲ了シ御ノ名

ヲ以テ本寮頭ニ充タル達書ヲ添へ本寮ニ付  
スルヲ定規トス而シテ此達書ヲ本寮ニ受付  
スレハ該負事款ヲ經費内訳明細簿ト照查シ  
交付ノ順序ヲナス

但内務省所管ノモノハ決判済ノ上二類ニ第  
十五号雜ノ達書ヲ添へ本省ニ回付スルハ

第二十八節ニ全シ

第二十六節 一歳經費目途金ノ皆拂ニ至時處分ノ更

凡ソ各廳ノ經費ニシテ其年支給スヘキノ額  
ハ其廳ノ經費内訳明細簿ニ詳悉シ支給済ノ

額ハ日ヲ逐フテ經費追調簿ニ詳記スルモノ  
ナレハ常ニ此追調簿ニ準據シテ猶殘額アル  
ヤ否ヲ點檢シ該額ノ皆拂ニ至ルモノハ速ニ  
其旨ヲ御ニ申達シ示後更ニ正院ヨリ達シア  
ラサレハ支給セサルモノトス

第十二款

各廳或ハ人民へ貸附スル金穀ヲ精理シ主務ノ  
款課ニ對シ督促返付セシムル事

第一節

貸附金穀ノ負數ヲ日計簿ニ  
登記スル事

凡ソ各廳或ハ人民へ貸附スルモノハ金穀ハ其  
情願事由ヲ精料シ本省可管ノモノハ部内ノ  
寮司内務省可管ハ同省部内ノ寮司等ニテ調  
理整頓シ御ノ交議ヲ洽ルノ議案簿冊等ヲ本  
寮ニ回致スレハ其金額事由ヲ日計簿ニ登  
レ傳宗ノ順序ヲナスハ第十五款ニ掲クルカ

如レ

芽二節 貸付全穀ヲ納付スル片ノ事

納付ノ全穀ニシテ年賦月賦又ハ一時貸付セ  
レモノ苛期節ヲ逐ヒ還納スルモハ主務ノ  
談課ヨリ仕出書ヲ以本寮ニ付レ寮頭ノ檢印  
ヲ了レ直チニ傳宗ノ順序ヲ要ス

芽三節

各廳ヨリ送致スル貸付全穀勘定帳ハ  
追算簿ト照査スル事

一般貸渡ノ全穀及込納金ハ明治六年芽四百  
廿七号同七年芽四十七号ヲ以公布アリレ  
形ニ照レ勘定帳ヲ作り每一月毎三月各廳ヨ

リ送致スヘキナレハ其帳簿ヲ執テ追算簿ニ

照合レテ全穀ノ負数ヲ清查勘算スヘキ事ト  
ス

芽四節

主務ノ寮ヨリ送付スル貸付全穀月報ノ追  
算簿ニ照査レテ統計寮ニ送致スル事

貸渡及込納ノ全穀ハ主務ノ談寮ニテ毎三月  
報告ヲ芽二十六号  
雜形ノ如レ製レテ以テ仰ニ呈シ其閱覽ヲ  
經ハノ後本寮ニ接受スレハ乃テ談員ヲ追算  
簿ニ照合シ其差異ナキハ寮頭ノ檢印ヲ經テ  
之ヲ統計寮ニ送付ス

第十三款

各廳ニ交付スル每一歳ノ定額其他一切経費金  
穀ノ歳尾ニ至リ残余アルモノハ之ヲ還納セシ  
ムル事

第一節

歳費ノ残余ハ其勘定完結ニ至ルヲ待テ  
還納セシムル事

院省府縣一歳ノ経費ニ於ル第一款ニ掲ル如  
ク前年歳尾ニ於テ翌年一歳ノ該額ヲ擬定シ  
次ヲ逐テ交付スルモノナレハ各廳ニテ一歳  
ノ経費勘定ヲ完結スルノ後既ニ交付シタル  
金穀ノ残余アルモノハ還納セシムルヲ則ト



芽二節

中仕切ヲ以決算ナレ難キモノハ翌年越高ニ加算スル事

歳尾ニ至リ一歳経賞ノ勘定ヲ整頓スルニ方  
リ其頭金ハ既ニ拂出アハモ其年内ニ中仕切  
ヲ以成算完結ナレ難キモノハ其事由顛末ノ稟  
申レ未決算ノ金額ヲ調成レ其旨趣ヲ稟申スルハ明治七  
年十一月才百四十四号布達ノ雜形ニ從ハキモノトス  
許可ヲ経テ翌年ニ至リ精算スヘキ金額ヲ除  
クノ外ハ一切納付セシムヘキ事トス

芽三節

残餘ノ金額ハ勘定限決算完結ニ至テハモ先ツ概計ヲ以還付セシムル事

残餘ノ金額ハ同年経賞ノ決算完結ニ至ルヲ

俟テ返付セシムヘキモノトシテ其残額ハ歳  
尾ノ勘定帳ニ於テ既ニ判明ナレハ勘定帳ヲ  
調理セサル前トシテモ概算ヲ以残餘ヲ返付セ  
レムルハ明治七年三月大藏省芽二十五号ノ  
布達ニ照準ス

芽四節

残餘ノ金額還納ノ儀ヲ稟申スル件之ヲ調査レテ納付ノ順序ヲ決ス事

残餘ノ金額ヲ還納セントシテ其旨ヲ各廳ヨ  
リ照管稟申スルアレハ歳尾ノ勘定帳ニ照レ  
該額ヲ查訂レ納付セシムルハ議案忠令若シ  
クハ回答案ヲ作り脚ノ決印ヲ経テ該廳ニ申

連レ傳票ノ順序ヲアサレム

大藏省

第十四款

金穀出納ニ関スル回議簿冊等ノ正算ヲ經ヘキ  
ハ之ヲ正算シテ其差謬ナキヲ保スル也

第一節

金穀出納ニ関スル議案冊子ヲ審査勘算  
スル也

凡ソ成規定例アル金穀ノ出納ニ関スル議案  
簿冊ノ正算スヘキヲ各寮局課ヨリ回致スル  
アレハ例規ニ照シテ審査勘算シ立議確当ニ  
シテ計數ノ差異ナキモノハ算數ノ下面ニ正  
印ヲ捺シ專理勘算セシ吏算ノ小印ヲ加押シ  
以テ之ヲ保證ス

大藏省

第二節

收入支出ノ全穀ハ貨幣ノ種類甲部乙部準備ト預ケ場所等ヲ区分スル也

收入支出ノ全穀ハ必ス貨幣各種ノ科目ト甲乙丙部ノ全穀ト準備金穀ト東京大阪横濱三所銀行ノ預ケ場所トヲ区分スヘキヲ程規トス但文出金穀ノ品類及ヒ預場所ヲ區畫スルハ理財課傳票科ノ專理スル處ナレトモ税外收入ノ金穀ハ回議簿冊ニ其種類預場所ヲ掲載スヘキヲ定規トスレハ若シ其簿冊ニ種類等ノ記載ナキ時ハ主務ノ察局ニ返付シテ之ヲ精理セシム

第三節

米穀ヲ全貨ニ換ヘテ収出スル其米穀ノ相場ヲ相場帳ニ照看スル也

米穀ヲ代價ニテ収出スヘキモノハ貢納相場ヲ用ニルアリ下米相場ヲ用ユルアリ或ハ淺草倉庫ノ平均相場ヲ用ユルアリ貢納相場及ヒ下米相場ハ租稅寮倉庫相場ハ出納寮ニテ各計數ヲ勘査シ以テ回付スルモノナレハ其簿冊ヨリ謄寫シテ以テ帳簿ニ録ス之ヲ相場帳ト稱シ以テ照看ニ供ス

第四節

貢納相場或ハ下米相場等ヲ用ユル科目ノ支

貢納相場及ヒ下米相場等ヲ用ユルノ区分ハ

大藏省

左ノ科目ニ照準スヘシ但此科目ハ現今ノ成規ヲ以テ掲載セシモノナレハ猶時ノ布達ニ寄り變更アルヘキモノトス

貢納相場ノ部

家祿

賞典祿

社寺逸減祿

終身扶持

渡月前月ノ下米平均相場ヲ用エルノ部

救助米

棄兒養育米

前年十月一日ヨリ十一月十五日マテ日々

下米平均相場ヲ用エルノ部

夫食米

### 第五節

回議冊ニ石代相場ノ記載アルモノハ其石代ノ下面ニ檢字ノ小印ヲ捺スル也

収入支出ノ回議簿冊等ニ石代相場ノ記載ア

ルモノハ相場帳ニ照準シ石代ノ下面ニ檢字

ノ印ヲ捺用シ以テ其差異ナキヲ證ス

### 第六節

金穀出納ノ回議冊ニ甲部乙部準備ノ納拂トラ區分シテ印ヲ捺スル也

回議簿冊ノ勘算精理ヲ經テ其差異ナキモノ

ハ常用甲部ヨリ支出スルハ(千支甲部拂)乙部

ハ(千支乙部拂)甲部ノ納入ハ(千支甲部納)乙部

ハ(千支乙部納)ノ印ヲ捺シ準備ノ収出ハ(準備

大藏省

拂(準備納)ノ印ヲ、一押シテ以テ之ヲ支別ス

第七節 臨時金穀ノ収出ハ正算ヲ要セサルモ

臨時金穀ノ收入支出ヲ要スル回議簿冊ノ如キハ主任ノ各寮局課ニテ調理正算シ指令其他諸般ノ順序ヲ了シテ卿ノ名ヲ以テ本寮頭ニ宛タル達書ヲ添へ以テ本寮ニ接受スルモナレハ回議面ノ金算ト達書ノ金算トニ(照査)ノ印ヲ勘合シ擔任スル寮算ノ小印ヲ加押シ頭ヲ檢印ヲ經ルノミニシテ別ニ本寮ノ正算ヲ要セス

第八節 計算例則ノ更

凡ソ金穀ノ計算ヲ正理スルハ其時々規則定例ニ準據スヘキヲ以テ凡ソ算則ニ関スル例規尋ハ編纂シテ一簿冊トシ以テ正算擔任ノ各課ニ備ヘテ其照省ニ供ス

大藏省

第十五款

出納金穀ノ傳票ニ付スルモノヲ簿記シテ之ヲ保存スル事

第一節

金穀ヲ出納スヘキ回議冊子ニ(要傳票)ノ印ヲ捺シテ本寮ニ送付スル事

凡ソ成規定例アル金穀ノ出納ヲ要スル時ハ各寮ヨリ稟申スル旨趣ニ寄り擔任ノ寮局ニテ指令若クハ回答ヲ作り正院或ハ卿ノ決裁ヲ經百般ノ順序ヲ了シテ回議冊子等ニ要傳票ノ印ヲ捺シ以テ本寮ニ付スルヲ刻下ス

第二節

臨時金穀ノ出納ハ卿ノ達書ヲ以テ傳票ノ順序ヲナス事

大藏省

臨時金穀ノ出納ヲ要スルモノハ第十四款第七節ニ掲ル如ク決議濟簿冊ニ御ノ達書ヲ付スルモノニシテ此達書ヲ本寮ニ接受シ寮頭ノ檢印ヲ了スルニ隨ヒ直ニ回議原書ニ記載スル金算ニ檢證ノ印ヲ勘合シテ原書ヲ理財課傳票掛ニ送致シ達書ハ本寮ニ止メ傳票送致ノ番子ヲ記入シ逐次編綴シテ後證ニ供ス

第三節 定額金穀等ハ傳票達書ヲ以テ出納ノ順序ヲナス也

定額金若シクハ月給旅費等ノ類ニテ成規確定アルモノハ御ノ決判ヲ經ス主務寮局ニテ

定規ニ照シ勘査調成シ該寮頭ノ檢印ヲ經ルモノハ傳票達書ヲ以テ其金穀ヲ出納スルヲ程度トス

但傳票達書ハ第二十二号雜形ニ詳ナリ

第四節

(傳票)ノ御印ナキハ傳票達書等ヲ付添セサル時之ヲ再調セシムル也

以上三節ノ如クナレハ凡ソ傳票ニ付スルノ金穀ハ御ノ達書ヲ添サルカ或ハ(傳票)ノ御印ナキハ傳票達書ヲ添付セサルハ順序ノ未ダ整ハサルモノトシ主務ノ寮局ニ返致シテ更ニ再調セシム

第五節

内務省掌管ノ事務ニシテ成規アル金穀ノ傳票ヲ要スル時ノ事

内務省掌管ノ事務ニシテ各廳ヨリノ稟申ニ應シ成規定例アル金穀即チ賞典及ヒ窮民水火災救助等ノ類ヲ交付スヘキハ内務卿ノ決判ヲ經指令其他總テノ順序ヲ了シ第二類ノ違書ハ議案簿冊ヲ添ヘ本省ニ付シ直ニ之ヲ本寮ニ接受ス

第六節

内務省所管ノ經費第二類通知ノ事

同省掌管ノ事務ト雖モ臨時金穀ヲ要スルノ議案簿冊ハ總テ之ヲ本省ニ合議シ決印ヲ經ルノ後納受ニ支障ナキモノハ二類ノ違書ハ議案簿冊ヲ添ヘ之ヲ送付スル前ニ至シ

第七節

全上貸付金穀通知ノ事

貸付金穀ノ回議簿冊ハ卿決判本省ニ關與スルモノハ本省ハ卿決判本省ニ關與スルモノハ本省後ニ類ノ違書ヲ添ヘ來ルモ拜借金穀ヲ擔理スルハ該課即本省理財課ニテ之ヲ受ケ同課ニテ之ヲ精理シ事項ノ臨時ニ涉ルモノハ卿之ニ檢印シ成規アルモノハ課長ノ檢印ヲ了シテ本寮ニ接受ス

第八節

内務省通知書ヲ以テ傳票ノ順序ヲナス事

大藏省



凡ソ内務省ヨリ送達スル處ノ二類ノ達書ハ  
金穀受拂ニ付百般支障ナキノ後之ヲ送付ス  
ルモノナレハ本省各主任ニテ要傳票ノ押印  
アルモノト同視シ此達書ヲ添へ去ルハ直ニ  
傳票ノ順序ヲナスヲ要ス

但二類ノ達書雜形及ヒ内務省ヨリ本省ニ  
送致スルノ順序ハ第二十五号書冊ニ詳ナ  
リ

### 第九節

傳票ヲ付スル金穀ノ算數ヲ日計簿ニ登  
記スル也

傳票ヲ付スルニ方リ帳簿ヲ製シテ金穀ノ該

算及ヒ出納スヘキ事由顛末ヲ記存ス之ヲ日  
計簿ト云此計簿ハ二冊ニ分ツモニシテ其  
一冊ハ常用出納ノ金穀一冊ハ準備出納ノ金  
穀ヲ登記スヘシ其納拂及ヒ甲乙兩部ヲ區分  
シ顛末ヲ登録スル書式ハ第二十七号雜形ニ  
詳ナリ

### 第十節

出納ノ金穀ヲ分ツテ三區トス其一ハ常用ノ  
甲部即チ其年七月ヨリ翌年六月マテ十二ヶ  
月間ニ収出スヘキ金穀ニシテ其二ハ常用ノ

乙部即チ前年七月ヨリ其年六月マテ十二ヶ月間ノ金穀ヲ出納スルキモノナリ其三ハ即チ準備ヨリ収出スルモノニシテ前年六月以前ニ関スル出納ノ金穀及ヒ造幣鑛山製鉄等ノ事業ニ就キ其経費ヲ要スルモノ及ヒ利益金ヲ收取スル等ノ類ハ此準備中ニ於テスルモノトス

第十一節 準備金穀収出科目ノ更

準備金穀ヨリ鑛山其他ノ経費及ヒ利益金ヲ収入支弁スルハ毎歳公布アル見込會計表及

ヒ正院ヨリ本省ニ下達スル内譯簿冊ニ就テ詳悉ヲ知ス

第十二節

日計簿ニ甲部乙部準備ノ印ヲ捺シ及ヒ貨幣ノ種類ヲ詳記スル更

甲乙兩部ノ金穀及ヒ準備ヨリ出納スル金穀ハ回議簿冊若クハ傳票達書ニ其部分ヲ詳明ニ記載アルモノナレハ該簿冊ニ就キ日計簿ニモ甲乙及ヒ準備ノ印ヲ捺用シテ以テ之ヲ分チ并常用ノ収入準備ノ収出ハ貨幣ノ品類ヲ區畫シ以テ日計簿ニ詳記ス  
但常用支出ノ金穀ハ理財課傳票掛ニ於テ

大藏省

種類ヲ分畫シ傳票ヲ付スルモノナレハ毎  
一月其掛ヨリ送致スル簿冊ニ準據シ各種  
分類シテ以テ日計簿ニ登録ス

第十三節

準備ハ收入ノ順序及ヒ其種類ヲ区分シテ  
帳簿ニ記載スル也

準備ノ金穀ヲ收入スルキハ主務ノ各廳ヨリ  
其現金穀ヲ一旦國債寮ニ納メシ國債頭ノ傳  
票達書ハ卿ノ決判アル回議簿冊或ハ仕出書  
上納達書ヲ添付スルキ事トス但準備金ハ一  
類二類ノ區別アリテ  
一類二類ノ區分ハ準備  
金計算若傳票ノ規則ニ  
詳ナリ其種類ヲ區畫シ及ヒ該額ヲ帳簿ニ記載

シ勘合ノ印ヲ捺スルヲ以テ國債寮ヲ經ヘギ  
モノトス

第十四節

準備金ヨリ支出スヘキモノハ國債寮ノ帳記  
等ヲテ本寮ニ付スル也

準備支出ノ金穀モ其回議簿冊又ハ仕出書ハ  
主務寮局ヨリ一旦必ス國債寮ニ送致シ一類  
二類ノ押印ト帳記済ノ印ヲ捺用シテ以テ本  
寮ニ付スヘキモノトス

第十五節

各府縣ノ費用預ケ米金ノ内ヲ以テ交  
付スル順序ノ也

各府縣費用ノ金穀ヲ預ケ米金ノ内ヨリ交付  
スヘキハ出納寮ニテ決議簿冊ニ預ケ米金渡

大藏省

ノ印ヲ捺シテ其順序ヲ了シタルヲ證ス若シ  
順序ハ未タ整ハサルモノアルハ預米金未  
済ノ印ヲ捺スルモノナレハ未済ノ押印アル  
ハ主務ノ寮局ニ返付シ其順序ヲ了スルヲ俟  
テ再々回致セシム

但各府縣ノ内貢納金穀ヲ皆納シ又ハ其他  
ノ事故ニ據リ預米金ヲ為シ難クシテ現金  
交付スルカ如キハ之ヲ臨機ノ處分ニ付ス

### 第十六節

傳票ニ付スル金穀ノ算數ヲ日計簿ニ登録シ  
テ檢證印ヲ勘合スル事

凡ソ傳票ニ付スルノ金穀ハ其該算顛末ヲ日

計簿ニ登録シ回議簿冊又ハ仕出書トニ檢證  
ノ印ヲ勘合シテ以テ其差謬ナキヲ保シ之ヲ  
理財課傳票掛ニ送致ス

### 第十七節

傳票ヲ付スルニ方リ決議簿冊又ハ仕出書等  
ト日計簿トニ番号ヲ付スル事

傳票ヲ付スルニ方リ決議簿冊又ハ仕出書等  
ト日計簿トニ番号ヲ付シ以テ傳票送致ノ  
順序ニ便ニス但此番号ニ於テハ常用ト準備  
トヲ分テ混同セサルヲ要ス

### 第十八節

租稅寮ニテ擔理收入スル諸稅ハ本寮ノ保證  
ヲ經テ直ニ傳票掛ニ送致スル事

地租其他收入ノ金穀ニシテ租稅寮ノ擔理ス

ルモノハ本寮ノ保證ヲ經ス租稅寮ヨリ直ニ  
理財課傳票掛ニ送致スルヲ定規トス

第十九節

傳票ヲ要スル為ノ本寮ニ接受スル議冊等終  
テノ順序ヲ完了シテ傳票掛ニ送致スル期限ノ支

凡ソ出納金穀ノ即時納受ニ支障ナキモノニ  
シテ傳票ヲ要スル為ノ本寮ニ接受スルモノ  
ハ即日若クハ三日ヲ出スシテ必其順序ヲ了  
シ以テ理財課傳票掛ニ送致ス

第十六款

金穀出納ニ関スル議案冊子ヲ成規定格ニ照シ  
誓查勘算スル事

第一節

成規定額アル費用ニ関スル回議ノ当否ヲ審査  
シ其計數ヲ勘算スル事

凡ソ成規アル金穀ヲ納付支出スベキモノニ  
シテ本省ニ関スルハ部内ノ寮局内務ニ関ス  
ルハ同省部内ノ寮局ニ於テ各廳ヲリノ照管  
若クハ稟申ニ對シ指令回答案ヲ作り本寮ニ  
回付スル片該簿冊ニ對シ成規定格ヲ逐ヒ其  
當否ヲ審査シ其該負ヲ勘算シ本省ニ出ス

第二節

立議ノ趣旨成規ニ違ヒ或ハ計算ヲ誤ルモノ  
アル片ノ古

金穀ノ負數考案ノ旨趣等定規ニ違ヒ或ハ計  
算ヲ誤ルモノハ其旨趣ヲ付箋ニ摘記シ以テ  
主務ノ察局ニ返致ス

第三節

成規例格アル費用概目ノ古

成規例格トハ濟救賑恤其他<sup>レ</sup>テ確定ノ規則  
アルモノニシテ此規則タル時々ノ公布等ニ  
ヨリ依變更アルモノナレハ常ニ例規沿革<sup>般</sup>  
規則<sup>ニ</sup>沿革ヲ逐ニ<sup>ニ</sup>検査<sup>ニ</sup>照查參省シテ抵  
觸セザルヲ要ス

第四節

成規定例ナキ費用ノハ  
ニ回議セザル古 八 御決判前本察

成規定例<sup>ニ</sup>沿革<sup>ヲ</sup>逐<sup>ニ</sup>検査<sup>ニ</sup>照查參省<sup>シテ</sup>抵  
觸セザルヲ要ス  
ル處ノ<sup>ハ</sup>御決判<sup>前</sup>本察  
等ヲ調<sup>成</sup>成<sup>ノ</sup>旨<sup>趣</sup>等<sup>定</sup>規<sup>ニ</sup>違<sup>ヒ</sup>或<sup>ハ</sup>計<sup>算</sup>ヲ<sup>誤</sup>ル<sup>モノ</sup>  
得シテ<sup>ハ</sup>後<sup>者</sup>難<sup>ル</sup>ニ<sup>シ</sup>テ<sup>ハ</sup>因<sup>ニ</sup>例<sup>ナ</sup>キ<sup>旨</sup>趣<sup>等</sup>定<sup>規</sup>  
モノハ<sup>ハ</sup>御決判<sup>前</sup>本察  
ス

第二節

立議ノ趣旨成規ニ違ヒ或ハ計算ヲ誤ルモノ  
アル片ノ旨

金穀ノ負數考案ノ旨趣等定規ニ違ヒ或ハ計  
算ヲ誤ルモノハ其旨趣ヲ付箋ニ摘記シ以テ  
主務ノ察局ニ返致ス

第三節

成規例格アル費用概目ノ旨

成規例格トハ濟救賑恤其他<sup>ニ</sup>テ確定ノ規則  
アルモノニシテ此規則タル時々ノ公布等ニ  
ヨリ依變更アルモノナレハ常ニ例規沿革<sup>般百</sup>  
規則ノ沿革ヲ逐ニ<sup>ニ</sup>検査<sup>ニ</sup>照查參省シテ抵  
觸セザルヲ要ス

第四節

成規定例ナキ費用ノ旨  
ハ御決判前本察  
ニ回議セサル旨

成規定例ナキモノニシテ前例ヲ逐ニ收出ス  
ル處ノ金穀ハ主務ノ察局課ニテ議案指令案  
等ヲ調成シ御ノ決判ヲ乞ヒ都テノ順序ヲ了  
得シテ後本察ニ達スルモノハ定格ナキ  
モノハ御決判ノ前本察ニ接受セサルモノト  
ス

趣旨成規ニ違ヒ或ハ計算ヲ誤ルモノ  
支

日趣等定規ニ違ヒ或ハ計  
目趣ヲ付箋ニ摘記シ以テ

格アル費用概目ノ支

賑恤其他ニテ確定ノ規則

規則タル時々ノ公布等ニ

ナレハ常ニ例規沿革

査察ニ照査參省シテ抵

支例ナキ費用ノ四ハ御決判前本察  
成セサル支

シテ前例ヲ逐ヒ収出ス

察局課ニテ議案指令案

ヲ乞ヒ都テノ順序ヲ了

ルモノニレハ定格ナキ

本察ニ接受セサルモノト

臨時費用ノ支出ヲ要スル件ハ検査察ハ協議

ヲ經サル順序ニ改定シ本條ノ如ク掲記スルト雖モ

俄尔其例ニ據ルキハ廢務上却テ錯綜ヲ來シ不

便宜ナリ故ニ姑ラク  
前ノ例ニ因テ之ヲ所辨シ異

日慣鍊ノ期ヲ待テ釐正セハ大ニ便宜ナルヘシ



第十七款

凡ソ金穀出納ニ関係スルノ事件ヲ本寮ニ下問  
アル時ハ其意見ヲ上答スル事

第一節

正院ノ下問ニ對シ上答議案ヲ作ル事

凡ソ左ニ掲クル條件ノ法案ヲ以テ正院ヨリ  
本省へ下議スルアレハ當寮之ヲ受ケ其當否  
ヲ熟議審案シテ妥當ナルモノハ其旨答議案  
ヲ作リ卿ノ決判ヲ請ヒ了テ最前下付ノ法案  
ト共ニ本省文書課往復掛リニ付シ答議ヲ淨  
書シテ正院へ返呈セシム而テ答議案ハ同掛

ヨリ直子ニ記録寮ニ回送シ其副本ヲ同寮ヨリ受領ス

- 一定額アル金穀及ヒ其規則ニ関係ノ件
- 一金穀出納計簿ニ関係ノ件
- 一勘定仕上ニ関係ノ件

第二節

正院ヨリ下議スル法案中妥當ナラサル條件アルハノ事

正院下議ノ法案中若シ妥當ナラサルカ實際ニ於テ支吾スル等ノ件アレハ其意見ヲ答議シ或ハ其事由ニ因リ卿ノ旨ヲ承ケ更ニ法案ヲ整理シテ上呈スル事アルヘシ

第三節

本省ヨリ下向ニ答議スル事

第一節ニ掲クル條件ヲ卿ヨリ下議スルコトアレハ其當否ヲ審案シ答議ヲ作テ以テ呈ス但特宜ニ因リ卿ノ命ヲ奉シ新タニ法案ヲ調整シテ上呈スル事アルヘシ

第十八款

凡ソ定額金穀及ヒ勘定仕上其他計算上ニ関ス  
ル規則ノ曉解シカタキ條アリテ諮問照會ヲ受  
ル時ハ之レカ回答若シクハ指令等便宜ノ考案  
ヲ作り或ハ實際ノ施為ニヨリテ其規則ヲ設立  
シ又ハ改正ヲ要スル丁マレハ其法案ヲ作ル事

第一節 疑問ニ回答ヲ作ス事

定額金穀及ヒ勘定仕上其他計算上ニ関スル  
規則中若シ曉解シ難キノ條或ハ一事兩岐ニ  
涉リテ決シ難キノ件アル時諮問照會ヲ受ル

大藏省  
アレハ其事端ヲ詳悉シ先規例格ニ照シテ回  
答書若クハ指令案ヲ作り寮頭之ヲ決判シ卿  
ノ名ヲ以テ付達シ其本寮へ諮問スルモノハ  
如キハ寮頭ノ名ヲ以テ之ニ回答ス

第二節 答議ヲ草スルニ引證ヲ付スル事

疑問ヲ受ケテ答議ヲ草スル必ス引證ヲ付ス  
ヘシ引用ノ證ハ二項ニ分チテ一ハ規則一ハ  
補則トス

其一 規則ニ照シテ毫モ疑ヲ容レサルモ  
ノハ指令或ハ回答中示規則第幾條

ニ照準スヘキ旨ヲ掲載ス

其二 規則ニ照シ少シク疑ヲ抱クモノ或

ハ規則ニ明文ナキモノハ正院稟候  
又ハ本省稟議ヲ草シ裁可ヲ経テ之  
ヲ処分シ名ケテ補則トシ将来コレ  
ヲ憑拠トシテ指令又ハ回答ヲ草ス  
此ノ如キハ某ノ規則第幾條ノ補則  
ニ準據シタル丁ヲ前議ニ掲載ス

第三節 補則整成ノ時々各廳へ回達スル事

前節ニ掲クル補則整成ノ時々大藏卿ノ名ヲ

以テ之ヲ各廳へ回達シテ規則誤認ノ患ナカ  
ラシム

第四節

補則ハ規則ノ趣旨ヲ解明  
スルニ止ル事

補則ハ帝規則ノ趣旨ヲ解明スルニ止ル故ニ  
正院或ハ本省等ヨリ一般へ公布スルモノハ  
前節ノ例ニアラス

第五節

疑問ヲ受クルノ際先規ノ據ルヘキナク  
シテ更ニ便宜ノ方法ヲ設立スル等ノ事

第一節ニ掲クル如ク諮問照會スルノ際先規  
例格ノ據ルヘキナクシテ更ニ便宜ノ方法ヲ  
設立シ或ハ之ヲ折衷シテ一ノ法則ヲ制定セ

ント欲スルモノハ其事理ヲ審按シ正院へ稟  
議及ト布達按等ヲ具シ關係ノ寮局  
卿ノ決判  
へ回議ス

ヲ經テ其議冊ヲ本省文書課往復掛付シ  
淨書シテ正院へ進達セシメ指揮ヲ待テ第一  
節ノ順序ニ據リ処分ス

第六節

従前一定ノ成規ナキモノ實際ノ  
施為ニ因リ新ニ方法ヲ設クル事

第一節ニ掲クル條件中従前一定ノ成規ナキ  
者等實際ノ施為ニ因リ新ニ便宜ノ方法ヲ設  
立セント欲スレハ其法案ヲ作り卿ノ決判ヲ  
經テ正院へ進達スル丁アルヘシ

第十九款

金穀出納上規程トナルハキ條件達書届書ノ類  
ヲ受領スル事

第一節

金穀出納上ニ於テ將來規格トナルハキ  
條件ヲ正院於テ許可セシキ本省へ達ノ事

凡ソ金穀出納上ニ於テ將來規格トナルハキ  
條件特ニ正院ノ許可ノミニシテ其旨一般へ  
公布セサルモノハ其許可ノ旨趣ヲ必ス本省  
ニ令達シ本省之ヲ當察ニ達スルヲ例トス

第二節

同上本省於テ許可セシキ  
本察へ達ノ事

前節ニ掲クル條件ヲ本省於テ許可シ其旨一

般へ布達セサルモノハ其許可ノ旨趣ヲ當寮ニ達スルヲ例トス

第三節

正院或ハ本省ノ達書ニ據テ其費用ノ計簿ヲ調査スル事

第一節第二節ニ掲クル如ク達書ヲ受領セシ上ハ他日其費用ノ計簿ヲ調査スルノ際必ス此達書ヲ以テ準據トス

第四節

正院或ハ本省ヨリ達書中一般ノ例規トナルヘキモノアレハ一般ヘノ公布ヲ要スル事

第一節第二節ニ掲クル達書中若シ其專款各廳一般ノ例規トナルヘキモノニシテ之ヲ公布セサレハ出納検査上ニ於テ支障アルト思

慮セシハ其由ヲ具陳シ一般ノ公布ヲ要スルヲタルヘシ

第五節

各廳ニ於テ旅費等ノ適宜方法ヲ設立セシ旨ノ届書ヲ審査スル事

各廳ニ於テ旅費其他手當金等ノ適宜方法ヲ設立シタル旨ヲ届出ルアレハ先ツ成規定例ニ據テ其當否ヲ審按シ可ナルモノハ御ノ一閱ニ供シ了テ之ヲ本寮ニ止メ他日其経費ノ勘定帳簿ヲ調査スルノ準據トス

第六節

適宜方法届書中妥當ヲ得サル條アルハ其旨ヲ達スル事

前節ニ掲クル所ノ届書中若シ妥當ヲ得サル

ノ條アルカ又ハ例規ニ抵触スルノ件アレハ  
其旨趣回答書或ハ指令按ヲ示リ卿ノ決判ヲ  
請ヒ以テ該廳へ令達ス

但其事款若シ該廳長官ノ權限外ニアリナ  
カラ正院ノ允許ヲ不經シテ全ク專決ニ出  
ルモノト思量セシハ第五款第十四節但  
書ニ掲クル例ニ准據シテ其届書ヲ返還ス

### 第二十款

金穀出納ニ関スル事務ハ其實際ヲ詳悉スルタ  
メ臨時各廳ニ抵リ其簿冊等ヲ検査スル事

第一節 臨時各廳ニ抵リ計簿ヲ點檢スル事

金穀出納ニ関スル事務ハ其實際ヲ詳悉スル  
為メ寮頭ハ臨時各廳ニ抵リ其簿冊ヲ點檢シ  
其處務ヲ監視スルヲ得ヘシ

但時宜ニ因リ寮中ノ官身ヲシテ時々檢察  
セシム

### 第二節

倉庫ノ鍵鑰ハ一ヲ分ツノ  
寮頭之ヲ管守スル事



倉庫ノ鎖鑰及ヒ其閑閑ハ出納頭ノ所管タリ  
ト雖モ寮頭ハ時々出納頭ト共ニ倉庫中ニ抵  
リ其實況ヲ檢視ス故ニ倉庫ノ鍵鑰ハ其一ヲ  
分ツテ寮頭之ヲ管守ス

第三節 庫中現金ノ出入ヲ檢視スル事

庫中收藏スル所ノ現金ヲ出入スルニ方テハ  
寮頭或ハ寮中ノ官負代理トシテ倉庫ニ抵リ  
其出入ヲ檢視シ而テ有高帳ニ就テ其出入ノ  
額ヲ簿記シ寮頭之ニ檢印ス

但寮中ノ官負ヲシテ代理セシムルハ其

代理ノ官負本文有高帳出入ノ額ニ檢印シ  
而テ後寮頭之レニ檢印ス

第四節 紙幣及ヒ公債證書等製造ノ事務ヲ檢視スル事

紙幣及ヒ公債證書又ハ諸印紙類ノ製造其他  
金穀ニ関スル緊要ノ事務ハ寮頭實地ニ臨ミ  
之ヲ檢視ス

但時宜ニ因リ寮頭ノ指揮ヲ以テ寮中ノ官  
員ヲシテ檢視セシムル事アルヘシ

第五節 銀行へ預ケ金有高取調ノ節立會ノ事

銀行へ預ケ金有高取調ノ為メ主任ノ寮官出

張スルキハ本寮ニ於テモ之レカ立會トシテ  
共ニ出張検査スルヲ例トス共立會トシテ出  
張スルノ前出納頭ヨリ本日銀行ニ預クル所  
ノ金額ヲ報知ス之レヲ以テ現有高ヲ檢視シ  
差異ナケレハ其報知書ノ金額ニ立會ノ検査  
官負檢印シ而テ寮頭之レニ檢印ヲ捺ス

### 第二十一款

凡ソ布告達書ノ類其他寮中一切ノ文書帳簿ヲ  
編纂管理シ及ヒ本寮處務ノ考課帖ヲ作ル事

#### 第一節

簿書ヲ編纂シテ検査ノ  
要ニ供スル事

凡ソ本寮ノ事務ヲ處スル必ス定規例格ヲ明  
カニセサルベカラス故ニ諸布告布達ヲ始メ  
一般出納事務ニ関スル定規成例ハ各部門ヲ  
分テ悉ク之ヲ編纂シ以テ検査ノ要ニ供ス

#### 第二節

太政官布告達書及ヒ本省布達  
等ヲ編纂スル事

太政官布告達書日誌及ヒ本省布達ノ類當寮

へ送致スル者ハ順次番号ヲ察サス各其簿冊ニ編入ス

第三節

布告布達ノ類ヲ各課ニ分配スル事

布告布達ノ類ハ寮中各分課ノ檢照ニ便ナラシムル為メ毎課ニ一部ヲ分配シ前節ノ例ニ據テ編入ス

第四節

各省使ノ布達類ヲ編纂スル事

各省使ノ布達類本省ヨリ回送スルモノハ隨時一通ヲ謄寫シ速ニ頭及ヒ各分課ニ傳致ス各課巡閱シ了レ乃之ヲ各部ニ編入ス

第五節

正院ノ命令書及ヒ各廳ノ達書等ヲ編纂スル事

金穀出納ニ関スル事款ニ付正院ノ命令書其池各廳ノ達書等記録寮ノ副本ヲ以テ本省ヨリ回達スルアレハ隨時一通ヲ謄寫シ速ニ頭及ヒ各分課ニ傳致ス各課巡閱シ了レハ乃チ其類ヲ分ツテ各部ニ編入ス

第六節

本寮起案ノ回議冊ヲ編纂スル事

本寮起案ノ回議其議既ニ決スル者本省文書課受付往復ノ兩掛リニ於テ共處分ヲ完了スレハ直チニ之ヲ記録寮ニ送致シ原書ハ同寮

ニ收メ寫ハ本寮ニ還付ス主任之ヲ受ケ直チ  
ニ編輯主務ノ員ニ回付スレハ其類ヲ分ツテ  
各部ニ編入ス

但毎部分門スト虽モ其冊數ノ多少ニ隨ヒ  
或ハ之ヲ各冊ニ分チ或ハ毎部合併スル等  
ハ妨ケナシ

第七節

本寮起案ノ回議中現ニ金穀ヲ出納スルノ議ニ係ルモノハ之ヲ謄寫シニ分類編算スル事

本寮起案ノ回議中現ニ金穀ヲ出納スルノ議  
ニ係ルモノ其議既ニ決シ前節ニ掲ケル順序  
ヲ經テ記録寮ヨリ副本ヲ還付スレハ編輯主

務ノ員之ヲ受ケ謄寫鈔録シテ以テ分類編纂  
ス

但記録寮ノ副本ハ傳票ノ需ニ供スル為メ  
主任ニ交付ス

第八節

各寮局起案ノ回議冊ニ要再回ノ印ヲ捺スル事

各寮局起案ノ回議巡覽ノ帖冊諸院省一往復  
文書等ノ類本寮處務ニ要用ナリトスルモノ  
ハ卿決裁ノ上再ヒ本寮ニ回致セシムル為メ  
其回議冊ニ(要再回)ノ印ヲ捺スルヲ例トス

第九節

(要再回)ノ印ヲ捺シタル回議ヲ謄寫  
編算スル事

要再回ノ印ヲ押シタル回議等決裁ノ後再ヒ  
各寮局ヨリ回致スレハ乃チ謄寫鈔録シテ以  
テ之ヲ分類編纂ス

第十節

要再回ノ印ハ各分課ノ内ニテ  
之ヲ捺スル事

要再回ハ押印ハ其事款ニ專ラ關係アル分課  
ニ於テナスヘシ故ニ各分課ニ便宜一冊子ヲ  
備置キ其再回ヲ要スル回議ノ件銘及ヒ番号  
月日等ヲ鈔録シ若シ再回遲延スルアレハ之  
ヲ主務ノ寮局ヘ督促シ速ニ回致セシム

第十一節

簿冊ノ部類ヲ分テ或ハ之ヲ  
合冊ニスル等ノ事

凡ソ簿冊ノ部類ハ其類似スル者ヲ併セラ合  
冊トナシ專ラ繕閱ニ便ニスト雖モ大抵一事  
連絡シテ他日ノ照會ニ用アルモノ、如キハ  
別ニ書目ヲ設ケテ之ヲ一冊ニ收聚シ各部ニ  
散在セシム可ラス

第十二節

凡ソ公文書類ハ先ツ部類ヲ分ツテ後ニ之ヲ  
編輯シ二冊子ヲナセハ更ニ綴綴スル事

凡ソ布告布達ノ類其他本寮及ヒ各寮局ニ起  
ル回議ノ寫本ハ先ツ部類ヲ分ツテ後ニ之ヲ  
編輯シ一冊子ヲ為セハ更ニ綴綴シ而シテ之  
ヲ書目ニ記載シ書箱ニ收メテ之ヲ管守ス

第十三節

二議副本ハ本寮起案他寮起案  
一ヲ別冊ニ編輯スル事

凡ソ回議冊副本ハ本寮起案ノモノト他寮局  
起案ノモノトヲ別冊ニシ以テ之ヲ編輯ス

第十四節

藏書目錄ノ事

寮中收藏スル処ノ一切ノ書籍ハ藏書目錄ヲ  
編製シ悉ク其書籍ノ名号ヲ登記ス

第十五節

書籍件銘簿ノ事

寮中收藏スル処ノ書籍各簿冊ニ分類編入セ  
シ議冊等ノ件銘ヲ登記スル為メ書籍件銘簿  
ヲ編製シテ搜索ニ便ナラシム

第十六節

書籍出入帳ヲ製シ其出入ヲ  
詳記スル事

寮中收藏スル処ノ書籍散逸ノ患ナカラシメ  
シカ為メ書籍出入帳ヲ製シ各課ニ貸與スル  
ノ際其請求スル処ノ書名月日及ヒ姓名ヲ認メ  
小印ヲ押サシメテ後之ヲ付与シ其返還スル  
ニ及テハ某日返還ノ旨ヲ記入ス

第十七節

圖書ヲ保存スル事

圖書ヲ保存シテ毀傷點汚ナカラシムル為メ  
時々庫内ヲ點檢シ掃除ヲ嚴ニシ勉メラ書棚  
ヲ清潔ニシ夏日ハ之ヲ涼所ニ移置シテ蠹蝕

患ナカラシム

第十八節

出納事務ニ関スル成規例格ヲ分類編纂シ其沿革ト現今施行スルモノトヲ明瞭ニスル事

出納事務ニ関スル成規例格ハ諸布告令達正院稟議等ノ各簿冊中ヨリ悉ク之ヲ分類摘録シテ漸次之ヲ編纂シ其沿革ト現今施行スルモノトヲ明瞭ニシテ検査ノ際照監ニ便ナラシム

第十九節

考課帖ヲ作ル事

本寮ノ處務毎件議冊ニ據テ其類ヲ分テ年月ヲ叙次シ詳明ナル考課帖ヲ作テ之ヲ記録寮

編纂課ニ送り其校訂了ルヲ俟テ更ニ淨書シテ同課ニ送致ス

六  
儀  
省

第二十二款

本寮必需ノ諸物品ヲ收取管理シ及ヒ修補營繕ノ事務ヲ辨正格置スル事

第一節

本寮所用諸物品ヲ本省用度課  
ヲ收受スル等ノ事

本寮ニテ通常所用ノ紙筆墨朱等一切ノ諸物品ハ豫メ受取牒ヲ製シ其受取ヘキ品類ヲ記載シ管主ノモノ押印ノ上本省用度課ニ付シテ收受スル連月十日ニ現品ノ多寡ヲ計リ受取置ヲ例トス而シテ每一月物品受拂帳ヲ作り前ニ受取トコロノ品物ノ過不足ヲ算計



シ拂高ト残品等ノ部分ヲ詳細ニ記シ管主ノ者捺印ノ上寮頭ノ奥書調印ヲ請ケ之レヲ御ニ呈ス

第二節

諸物品ヲ寮中諸員供給スル等ノ事

前節收受スルトコロノ物品ハ管主ノ者之ヲ儲蓄管理シ寮中諸員ノ需要ヲ待テ供給ス通常意ヲ注シテ點檢整置シ散失ナカラシムルヲ要ス

第三節

本寮内外ノ營繕及ヒ机案椅子等修補ノ用度課ニテ弁理セシムル事

本寮内外ノ修補營繕及ヒ器物ノ類ヲ製調ス

ルハ其趣旨ヲ具狀セル回議ヲ作り御ノ許可ヲ經テ本省用度課ニ達シテ處置セシム且寮中常用ノ物品机案椅子書篋文筆等ノ修補ニ至テモ同様用度課ニ報シテ辨理セシム

第四節

新任ノ人アル時筆硯墨朱其他ノ物品ヲ供給スル事

本寮へ新任ノ人アルハ筆硯墨朱錐小刀ノ類ヨリ筆盤椅子等マテ欵遺ナク用度課ヨリ受取之ヲ其人ニ給與シ奉務ノ障礙ナカラシム

第二十三款

寮中諸官員ノ月給旅費其他一切ノ諸雜給ヲ交  
付供給スル事

第一節

寮中官員ノ月俸ヲ收受シ之ヲ  
人員ニ交付スル等ノ事

寮中官員月給ハ毎月十七日ニ給與スルヲ例  
トス故ニ其期前ニ新任轉免或ハ帰省病告等  
ヲ詳悉取調精密ナル月給仕出書ヲ原リ金員  
ヲ計算シ了テ寮頭ノ檢印ヲ請ヒ本省用度課  
ヘ送致シ而テ甲乙月給受取帳ヘ總計金員ヲ  
録シ頭ノ調印及ヒ本寮ノ印章ヲ捺シ同課ニ

送り證券ヲ受領シ之ヲ銀行ニ付シ現金ヲ收  
取シ各員ハ分賦シ了テ月給檢證録寮中官負  
姓名ヲ

記シ月給渡濟ノ證ヲ  
徴スルモノナリヘ押印ヲ為サシム

但奏任以上月給税ハ本人ハ供給スル月俸  
ノ内ヨリ其税額ヲ減削シ之ヲ銀行へ送付  
シ證券ヲ製セシメテ用度課へ納付シ而テ  
同課ノ請取書ヲ各員へ交付ス

第二節

寮中官負ノ旅費ヲ收受シ  
之ヲ本人へ交付スル等ノ事

官負旅費支給ハ先ツ本人ヨリ見込書ヲ主任  
ニ出サシメ並旅行巡回滞留等ノ日數及ヒ海

陸里程ヲ測算シ定規ニ照查シテ精密ナル仕  
出書ヲ作り金負ヲ計算シ了テ寮頭ノ檢印ヲ  
請ケ本省用度課ニ送致シ而テ收受ノ順序前  
節ノ如シ尤歸京ノ上精算仕上ヲ調製シ過未  
足受納ノ手續ヲ為サシム

第三節

寮中官員解免等ノ節満年  
賜金ヲ收受シ之ヲ交付スル事

官負解免及ヒ病死ノ節満年賜金支給ハ履歴  
短冊ニ依テ奉職年月ヲ計算シ周年以上ナル  
ハ履歴ヲ記載シタル仕出書ヲ作り頭ノ檢印  
ヲ請ケ之ヲ用度課ニ付ス而シテ收受ノ順序

ハ第一節ニ掲クル如シ

第四節

同上帰國ノ旅費ヲ收受シ之ヲ  
交付スル事

同上帰國旅費ハ本人ヨリ差出ス願面ノ里程  
及ヒ日數ヲ調査シ規格ニ照シテ仕出書ヲ調  
シ頭ノ檢印ヲ請ケ之ヲ本省用度課ニ付ス收  
受ノ順序ハ第一節ニ掲クル如シ

第二十四款

寮中各員ノ身上ニ係ル一切ノ願請申報ノ類ヲ  
稟啓傳達スル事

第一節

寮中官負辭職歸省忌服轉居  
事ノ申報ヲ傳達スル事

官負辭職歸省忌服轉居其他一切ノ身上ニ  
関スル稟請申報ノ類ハ其旨趣ヲ日記ニ録  
シ了テ直ニ寮頭へ出ス而シテ卿ノ許可ヲ  
仰クヘキモノハ寮頭ノ申請ヲ添テ本省職  
務課ニ送致ス卿決裁済ノ傳達アレハ又寮  
頭ノ命ヲ請テ其旨ヲ本人へ通達ス

第二節

官員所管引籠等ノ届書ヲ傳達スル事

官負所管引籠等ノ届書ハ主任之ヲ請ケ直ニ寮頭へ出ス尤十五日ヲ経テ出勤セサルモノハ頭ノ副書ヲ添テ本省職務課ヨリ御へ届出ス其荏苒時日ヲ経ルモノハ例規ニ據リテ其趣ヲ寮頭へ申告シ頭ノ指揮ヲ請テ處分ス

第三節

寮中官負ノ印鑑ヲ徵スル事

新ニ本寮へ拝命スルモノハ實印小印共印鑑ヲ徵スヘシ遺失又ハ磨滅等ニテ改造ス

ル片ハ更ニ其旨ヲ申明セシム

第四節

新ニ拝命ノモノへ本省ノ印鑑ヲ付典スル事

本省ノ印鑑ハ新ニ拝命スル者ニ一枚ヲ付シ其番號及ヒ月日ヲ簿記シテ調印ヒシメ轉任免職等ハ還納ノ後ニ至テ消却ス

第二十五款

寮中官員ノ勤休表ヲ製シ宿直順ヲ定ムル等其  
他寮中一切ノ雜務ヲ調理スル事

第一節 在寮ノ官員勤休表ヲ製スル事

在寮ノ官員日々ノ勤休ハ簿冊ヲ作テ毎日  
之ニ押印マシメテ一年兩回六月勤休ノ日  
數ヲ總計シテ表ヲ製シ卿ニ呈ス

第二節 寮中宿直ノ順序ヲ定ムル等ノ事

寮中宿直ノ順次ヲ定メ簿冊ヲ作リテ之ヲ  
記載シ又總員ノ姓名ヲ記セル小牌ヲ本寮

ハ掲ケ置キ其期日ヲ通觀セシムヘシ若シ  
新任轉免等アリテ順次變換スレハ直ニ改  
置シ其旨ヲ本人ニ報知ス

第三節

本寮ノ印章ヲ管守スル事

本寮ノ印章ハ管主ノ者毎日寮頭ノ席ニ出  
シ其押用ニ供シ了テ還付スレハ又管主ノ  
者之ヲ領置シ退寮ノ時ニ至レハ宿直ノモ  
ノニ托シテ保監セシム

第四節

本寮ニ滄具スル御門鑑札本省印鑑  
諸鍵鑰ノ類ヲ管守スル事

本寮ハ備具スル御門鑑札本省印鑑並諸鍵

鑰ノ類ハ主任之ヲ掌管シ鑑札ハ其所用ア  
ルニ當テ番數月日ヲ記シテ押印セシメ之  
ヲ付與シ事了テ還納セシム且前頭諸品ハ  
主任退散ノ時ハ本寮宿直ノモノニ付屬シ  
夜中臨時ノ便用ヲ爲サシム

第五節

各所ハ往復ノ書信ヲ送達シ此  
費用ヲ受取ル事

各所ハ往復ノ書信ハ事ノ緩急細大ニヨリ  
郵便又ハ電信ヲ以テ通達シ而シテ此費用  
ハ仕譯書ヲ以本省用度課ニ付シ辦償セシ  
ム

第六節

寮中官負ノ履歷短冊ヲ徵取スル事

寮中官負ノ履歷短冊ヲ徵取シ本寮職負録

ヲ擁入シ新任轉免等ノ節出入加除シテ常

ニ異謬ナカラシム

第七節

寮中官負ノ姓名ヲ記署シ其分課ヲ區別シテ寮頭ノ席間ニ懸列スル事

寮中惣員ノ姓名ヲ漆札ニ記署シ其分課ヲ

區分類別シ寮頭ノ席間ニ懸列シテ某ハ何

課誰ハ何掛タルヲ一目瞭知セシム其昇降

出張分課督等ニ時々之ヲ交換改正シテ差

謬ナカラシム

第八節

各廳長官ノ印影ヲ領取スル事

諸官省各府縣長官ノ印影ヲ領取シ印鑑帳

ヲ作テ挿入編纂シ各課照查ノ用ニ供ス

第九節

寮中ノ雜務ヲ辨理スル事

本寮内外及ヒ宿直所ニ至ル迄時々小使等

ヲ指令督促シテ洒灑掃除セシメ勉メテ乾

潔清淨ナルヲ要ス又常ニ給仕小使等ノ勤

惰ヲ監視督責シ其他時辰機ヲ測正シ簿書

ノ亂推筐篋ノ位置等ヲモ時々點檢整頓セ

シメ本寮ノ體裁ヲ修正スルヲ要ス



第十一節

布告其他至要ノ文書ヲ便宜  
蒐輯スル等ノ事

平素寮頭ノ命ニ依テ各廳往復其他ノ文案  
ヲ具シ書記ノ事ヲ處辨シ及ヒ公布其他至  
要ノ文書ヲ存録シ以テ緝閱ノ便ニ備フ

第二十六款

各方ヨリ送致スル諸公文ヲ受付送達スル事

第一節

院省使寮局ヨリ送致スル  
公文ヲ受付スル事

院省使寮局ヨリ送致スル所ノ諸公文類部  
テ本省ヨリ送付スルモノハ其趣旨ノ概畧  
及ヒ月日等ヲ受付件銘簿ニ登記シ而シテ頭  
ノ指揮ヲ請テ以テ專掌ノ課ニ送達ス

第二節

本寮起案ノ回議冊ヲ本省或ハ  
各寮局ニ回致スル事

專掌ノ課ニ於テ管主ノ者稟議ニ由テ上申  
或ハ回答等ノ議案ヲ作り原書ヲ添ヘ取關

ノ各課、回議ニ頭ノ檢印ヲ請ケ了テ之ヲ  
受付専務ノモノニ付ス此ニ於テ其議冊ニ  
檢査ノ印ヲ押シ番号ヲ記シ又受付件銘簿  
ハ其月日ト管主ノ姓名トヲ割記シ回覽協  
議ヲ要スルノ寮局アルモノハ之ニ送付シ  
ナキモノハ直ニ本省ニ出シテ卿ノ決ヲ乞  
フ

第三節 決判済ノ回議ヲ受付スル事

卿決判済又本寮へ送致スレハ其議冊ノ押  
印ヲ點檢シ其異議ナキモノハ寮頭ノ一閱

ヲ了シ直チニ之ヲ管主ニ付與ス管主本書  
ヲ添テ再ヒ回付スレハ之ヲ本省文書課往  
復掛リへ送付ス同掛リ達済ノ上其回議冊  
ヲ記録寮へ送致シ同寮於テ全議ノ副本ノ  
製シ之ヲ本寮ニ回送スレハ直ニ受付件銘  
簿へ達済ヲ記シテ管主者へ還了ス都テ出  
入送達スルノ時々件銘簿冊ニ必ス受領者  
ノ小印ヲ請ケ遺脱錯綜ナキヲ要ス  
但本寮宛ノ諸公文等寮頭ノ名ヲ以回答  
スルモノハ本省ヲ經ズ直チニ之ヲ該廳

ハ達ス

第四節

各府縣ヨリ申牒スル諸願伺届等ヲ受付スル事

各府縣ヨリ申牒スル諸願伺届共本省文書課受付掛リヨリ送致シ来レハ受付件銘簿ニ登記ス其他ノ順序ハ第一節ヨリ第三節マテニ準據スヘシ尤回議了レハ本書ヲ付シ本省文書課受付掛リニ出シ傳達ヲ爲サ

但同上

第五節

院省使寮局ヨリ送致スル勘定帳ヲ受付スル事

院省使寮局ヨリ送致スル勘定帳ヲ本省文書課往復掛リヨリ送付スレハ其件銘ヲ勘定帳受付件銘簿へ登記シ專掌ノ課ニ送付ス專掌ノ課於テ別ニ帳簿ヲ製シ其件銘冊數及ヒ月ヨト管理スルモノ、姓名トヲ記載シ而メ之ヲ調査ス若シ調査上推問改算ヲ要スルカ爲メ管理者ヨリ直ニ其院省等へ往復スルテアリテ回答ヲ付シ来レハ受付專務ノモノ之ヲ受ケ往復簿へ記載シテ管理ノ旨へ送付ス

第六節

各府縣ヨリ送致スル勘定帳ヲ  
受付スル事

各府縣ヨリ送致スル勘定帳ヲ本省文書課  
受付掛ヨリ送致スレハ其件銘ヲ勘定帳受  
付件銘簿ニ登記シ専掌ノ課ニ送達スル  
前節ニ同シ

第七節

各寮局起案ノ回議冊ヲ  
受付スル事

各寮局課ニ於テ建議立案スルトコノ回  
議冊検閲ノ爲メ本寮へ回達シ来ルモノハ  
回議件銘簿ニ受付月日及ヒ擔當者ノ姓名  
等ヲ詳記シ回議冊寮名ノ肩ニ受付ノ月日

ヲ記シ而テ寮中関涉ノ各分課ニ回致スル  
爲メ其課号ノ小印ヲ捺シテ之ヲ送付ス各  
課及ヒ頭巡閱検印了テ而メ返還ス尤返還  
ノ時日或ハ他へ送付スル時ハ其由ヲ回議  
件銘簿ニ記シ其受領者ノ證印ヲ徴ス

但各寮へ合議スルノ回冊ハ各寮検印済  
ノ上本寮ニ送付スルヲ則トス因テ他寮  
局未タ検印ナキハ其旨ヲ付箋ニ一旦之  
ヲ還付ス

第八節

回議中至急時日ヲ期スルモノ  
アル件ノ事

大蔵省

本寮起案ノ回議至急時日ヲ期スルノ件アリテ尋常受付ノ順序ヲ經ルニ違アラサルモノハ專掌ノ課ニ於テ頭ノ決判ヲ乞ヒ直ニ他ヘ回達スルモノアリ如此ハ擔當者ヨリノ通知ニ因テ其件銘等ヲ回議發遣簿ニ記載シ他日ノ考證ニ備フ  
但本文如キ至急ノ件ニテ各寮局ノモノ自ラ持來リテ檢印ヲ要スルモノハ受付件銘簿ニ閱涉スルナシ

第九節

大藏内務ノ兩省合評スル回議冊ヲ受付スル事

本省ヨリ内務省ヘ合議スルモノ或ハ同省ヨリ本省ヘ合評スル議冊兩省卿ノ名ヲ署スルモノハ甲省卿調印ノ上乙省ニ回致ス或ハ甲省卿ノ名ヲ署スト雖モ乙省ハ唯寮局名ノミノ分ハ其寮局ノミ調印ノ上主任ニ還送ス若シ其回議兩省中數寮局ニ関スルモノハ當省諸寮局調印ノ後本寮ニ付スル則トスレハ未タ調印キ寮局アルトキハ其旨ヲ付箋シテ該寮局ヘ回送ス

第六節

傳票ヲ要スル諸回冊ヲ受付スル事

大藏省

諸回冊中傳票ヲ要スルモ(要傳票)ノ印ヲ  
押テ之ヲ送致スレハ傳票件銘簿、件銘並  
出納金穀ノ員數ヲ詳記シテ專掌ノ課ニ送  
付ス

但内務省ヨリ指令セシ傳票ヲ要スル件  
ハ同省達書ニ前議ヲ添付シ本省文書課  
往復掛リヲ經テ當寮ニ傳致ス

### 第十一節

準備金収出ノ傳票ヲ要スル  
諸回冊ヲ受付スル事

準備金穀ノ傳票達書ハ國債寮ニ於テ帳記  
濟勘合ノ印ヲ捺スルヲ例トス故ニ内務省

ヨリ回致スル分ハ本省文書課往復掛リニ  
テ之レヲ受ケ本寮ニ回致スレハ前節ノ順  
序ニ働ヒ件銘金負ヲ簿記シテ專掌ノ課ニ  
送致シ準備ノ収出ハ一旦國債寮ニ回付シ  
同寮帳記濟勘合ノ印ヲ了シ再々本寮ニ付  
スルヲ俟テ專掌ノ課ニ送付ス

### 第十二節

内務省第一類通知書ヲ  
受付スル事

内務省於テ定規アル者ヲ指令セシ第一類  
ノ通知書ヲ本省文書課往復掛リヨリ送致  
スレハ之ヲ受付件銘簿ニ記シ直ニ專掌ノ

課ニ送付ス

第十三節

諸布告布達ノ類ヲ受付スル事

凡ソ諸布告布達ノ類ヲ回達送致シ来ルアレハ受付件銘簿ニ件銘番号ヲ記載シテ速ニ專掌ノ課ニ送付ス專掌ノ課寫濟小印ヲ押シ之ヲ返付スレハ其宛所ニ由リテ送達ス其刊行ニ係ル布告布達日誌等ノ類ハ專掌ノ課ニ於テ便宜編輯セシム

第十四節

受付件銘簿ヲ編製スル事

凡ソ各方ヨリ送致傳達スルトコロノ百般

ノ簿書冊子ノ来往ヲ明瞭ニシテ渋滞埋没ナカラシムル爲メ受付件銘簿ヲ製シテ詳細ニ銘記シ又時々之ヲ翻閱シテ目存心記スルヲ要ス

第十五節

各分課擔當ノ書類既濟未濟ヲ詳ニシテ簡明表ヲ製スル事

各分課擔當ノ書類每一ヶ月出入朋細ヲ記載シタル處務月報ヲ月末ニ至リ受付專掌ノ課ニ送致ス專掌ノモノ之ヲ受付件銘簿ニ照合シ達濟納置返戻等ノ印ヲ捺シ以テ既濟未濟ノ別ヲ詳ニシ簡明表第二十八号雜形ノ如シ

ヲ製シテ寮頭、檢照ニ供ス  
但處務月報ハ照合濟速ニ各分課ニ還付  
スルヲ要ス

第十六節

各廳官員ヲ出頭セシムル呼出  
狀ヲ送達スル等ノ事

事務管主ノモノ、諮詢推究ノ爲メ各廳ノ官  
員ヲ直ニ本寮ヘ出頭セシムルトアルトキ  
ハ則呼出狀ヲ作り其廳名ヲ志冊子ニ記シ  
而シテ之レニ捺印シ呼出狀ハ受付專掌ノモ  
ノニ由テ各廳ヘ送達セシム各廳ノ官員出  
頭スレハ受付專掌ノモノ其主務ノ課ヲ指

示ス



第二十七款

本寮事務ノ年報ヲ製スル事

第一節

各課月報ヲ作ル事

寮中日常處スル所ノ事務ハ細大トナク毎  
件其要目ヲ採摘シテ每一ヶ月簡明ノ月報

第二十九号  
雛形ノ如シ

ヲ作ルコトス

第二節

月報ヲ作ル順序ノ事

此月報ヲ作ルノ順序ハ寮中各員分掌日々  
處辦スル所ノ事務勘定帳調査及願金ハ各自  
交納等ノ類其概旨ヲ第三十号雛形ノ如ク掲記シ其翌

月二日コ限り之ヲ課長ニ出スヲ例トス課  
長又之ヲ合纂シテ每一課ノ月報トナシ同  
五日ヲ期シ十二月分ハ其月之ヲ察頭ニ出スコ  
二十五日トス  
ト、ス

第三節 月報ヲ作ル所以ノ事

此月報ヲ作ル所以ハ寮中事務ノ成否ヲ了  
知シ傍ヲ寮員ノ勤惰ヲ監視シ若シ事務滞  
遅等ノ事アル時ハ之ヲ督責シテ稽滯ノ弊  
ナカラシメン爲ナレハ勉メテ遺脱ナク掲  
載スルヲ要ス

第四節

年報ヲ製シテ本省ニ出ス  
期限ノ事

每一ヶ月各課長ヨリ差出ス所ノ月報ハ寮  
頭之ヲ閱了シテ更ニ一課ニ付ニ漸次蒐輯  
セシメ其年末ニ至リ合纂編成シテ本寮事  
務ノ年報第二十九号  
雛形ノ如シヲ製シ其翌年一月四日  
政始ヲ期シ之ヲ卿ニ呈ス

第二十八款

寮中一切ノ事務各課分掌シテ之ヲ處辨スル事

第一節

事務掌管ノ部門ヲ設クル事

本寮掌管ノ事務ヲ分テ八課トシ課中部門ヲ設テ以テ寮中一切ノ庶務ヲ調理シ八課相並テ以テ現務ヲ提掌ス

但當今出納順序及検査法改正ノ際タルヲ以本文八課ノ外改正掛リヲ置キ共改正ニ関スル事務ヲ擔理セシム

第二節

每課々長ヲ置ク事

每一課ニ長一員ヲ置キ分課ノ事務ヲ統理掌  
管セシム此ノ長ハ助以下蒞任官ノ職任トス  
然レトモ欠員アルカ或ハ事務ノ繁閑ニヨリ  
一人兩三課ヲ兼ヌルヲ得又ハ課長心得ノ名  
ヲ以テ正權大屬ヨリ補撰セシムルヲアルヘ  
シ

第三節

課長責任ノ事

課長ハ共擔當ノ事務ニ於テハ寮頭ニ對峙ス  
ルノ責任ヲ有ス故ニ權内ノ事ニ於テハ其當

否ヲ論辨シ其說議ヲ陳述スルヲ得又課中屬  
官ノ能否勤惰ヲ監視シテ之ヲ稟白スルヲ得

第四節

各課名稱ノ事

各課專任ノ名稱ヲ設テテ以テ寮務ヲ分掌セ  
シム即其制限ヲ定ムル尤ノ如シ  
但事務ノ繁閑ニ隨ヒ更ニ分課ヲ廢置スル  
ハ寮頭ノ所見ニヨリ御ノ決裁ヲ經テ之ヲ  
定ム

受付課

往復掛  
受付掛

各院省使ヨリ送

經此ノ項ニ對シテ  
送付ノ事

諸公文及ヒ府縣

第二節

每課々長ヲ置ク事

每一課ニ長一員ヲ置キ分課ノ事務ヲ統理掌  
管セシム此ハ助以下差任官ノ職任トス  
然レトモ欠員アルカ或ハ事務ノ繁閑ニヨリ  
一人兩三課ヲ兼ヌルヲ得又ハ課長心得ノ名  
ヲ以テ正權大屬ヨリ補撰セシムルヲアルヘ  
シ

第三節

課長責任ノ事

課長ハ共擔當ノ事務ニ於テハ寮頭ニ對峙ス  
ルノ責任ヲ有ス故ニ權内ノ事ニ於テハ其當

否ヲ論辨シ其說議ヲ陳述スルヲ得又課中屬  
官ノ能否勤惰ヲ監視シテ之ヲ稟白スルヲ得

第四節

各課名稱ノ事

各課專任ノ名稱ヲ設テテ以テ寮務ヲ分掌セ  
シム即其制限ヲ定ムル尤ノ如シ  
但事務ノ繁閑ニ隨ヒ更ニ分課ヲ廢置スル  
ハ寮頭ノ所見ニヨリ卿ノ決裁ヲ經テ之ヲ  
定ム

受付課

往復掛  
受付掛

各院省使ヨリ送致スル諸公文及ヒ府縣

第二節

每課々長ヲ置ク事

課ニ長一員ヲ置キ分課ノ事務ヲ統理掌  
シム此ノ長ハ助以下委任官ノ職任トス  
トモ欠員アルカ或ハ事務ノ繁閑ニヨリ  
入西三課ヲ兼ヌルヲ得又ハ課長心得ノ名  
以テ正権大属ヨリ補撰セシムルヲアルヘ

第三節

課長責任ノ事

長ハ共擔當ノ事務ニ於テハ寮頭ニ對峙ス  
責任ヲ有ス故ニ権内ノ事ニ於テハ其當

論辨シ其說議ヲ陳述スルヲ得又課中属  
能ク勤惰ヲ監視シテ之ヲ稟白スルヲ得

第四節

各課名称ノ事

專任ノ名称ヲ設ケテ以テ寮務ヲ分掌セ  
即其制限ヲ定ムル尤ノ如シ  
事務ノ繁閑ニ隨ヒ更ニ分課ヲ廢置スル  
寮頭ノ所見ニヨリ御ノ決裁ヲ經テ之ヲ

課

往復掛  
受付掛

各院省使ヨリ送致スル諸公文及ヒ府縣

太  
儀  
省

各分課人員ハ追テ取極  
本館ニ申事

申牒書其他諸寮司局課回議冊等一切  
ノ文書帳簿ヲ領收シ寮中專任ノ各課へ  
分送シ及ヒ之ヲ各廳へ送達スル等ノ  
ヲ掌ル

### 諸務課

寮中一切ノ經費ヲ調理シ及ヒ雜務ヲ辨  
知シ該寮官員ノ履歷ヲ管理シ寮頭ノ指  
揮ニ從テ文案ヲ草シ書記ヲ爲ス等ノ  
ヲ掌ル

本課ノ處務ヲ分テ二部トス

### 第一部

印章及ヒ鍵鑰ヲ掌管シ本寮ノ職員録  
ヲ管理シ寮中處務ノ年報ヲ製シ及ヒ  
寮員ノ勤休表ヲ宿直順序ヲ定ムル等  
總テ寮中ノ雜務ヲ調理スルヲ掌ル  
寮中各員ノ身上ニ係ル一切ノ願請申  
報ノ類ヲ傳達スルヲ掌ル  
寮頭檢閲ノ便ニ供スル爲メ便宜文書  
ヲ類集シ且寮頭ノ指揮ニ從テ各廳へ  
往復其他ノ文案ヲ草シ及ヒ書記等ノ

ヲ掌ル

新ニ任官ノモノハ處務ノ大体ヲ熟讀  
辨知セシムル爲メ常ニ當寮及ヒ本省  
事務章程處務順序等ヲ集載スルヲ  
掌ル

第二部

本寮必需ノ諸物品ヲ收取管理ニ及ヒ  
修補管繕ノ事務ヲ辦理措置スルヲ  
掌ル

寮中諸官員ノ月給旅費其他一切ノ諸

雜給ヲ交付供給スルヲ掌ル

編集課

本課ノ處務ヲ分テ三部トス

第一部

寮中一切ノ文書帳簿ヲ管集ニ及ヒ考  
課狀ヲ作ル等ノ事ヲ掌ル

第二部

専ラ各課便利ノ爲メニ  
設クルモノトス

定額金穀及ヒ經費ノ調査精算等總テ  
第一第二第三成算課專任ノ事務ニ関  
スル諸規則例規ヲ便宜類集編纂スル



ヲ掌ル

第三部

前ニ同シ

計算方法及ヒ追算整理精算表等總テ  
第四第五成算課專任ノ事務ニ關スル  
諸規則例規ヲ便宜類集編纂スルヲ掌  
ル

第一成算課

各院省使府縣其他總テ定額アル經費ヲ調  
査交付シ定額ニ關スル規則ノ疑問ニ回答  
若シクハ指令等ノ文案ヲ調理スルヲ掌

本課ノ業務ヲ分テ二部トス

第一部

定額アル諸經費ヲ調査交付ニ及ヒ定  
額ニ關スル規則等ノ疑問ニ回答若ク  
ハ指令スルノ文案ヲ調理スルヲ掌  
ル

第二部

各廳定額常費等ヲ支給スルニ當テ其  
金穀ノ高ヲ簿記ニ及ヒ其支給濟未濟

ノ高ヲ明瞭區分シ月報ヲ製スル等ノ  
一ヲ掌ル

### 第二成算課

官省使ノ經費及收入勘定帳ヲ分掌調理ス  
ルヲ掌ル

本課ノ事務ヲ分テ八部トス

#### 第一部

##### 陸軍省

該省費用ノ額金仕拂及収入金等一切  
ノ勘定簿冊其他物品仕拂有高帳等ヲ

定規ニ照シテ精査勘算シ其經費勘定  
帳如キハ金額領受ノ際各廳ヨリ出  
納頭ニ差出シタル諸取證書ノ該數ヲ  
以元金ノ支給高ヲ了知シ調成ノ後決  
算済ノ證書ヲ作り該廳ノ請取證書ト  
ヲ併セテ第四課ニ送致スルヲ掌ル

但收出勘定帳簿及ヒ物品仕拂有高  
帳等ヲ精調スルハ第二部ヨリ八部  
ニ至ル迄其順序本条ニ異ナルナシ  
故ニ旨下每部ハ其擔理スル廳名ヲ

挙クル人三

第二部

海軍省

第三部

工部省

第四部

内務省

警視廳

第五部

大藏省

宮内省

第六部

太政官

文部省

第七部

外務省

司法省

第八部

大藏省

大藏省

開拓使 教部省

右各員分掌ノ事務ヲシテ彼是混淆セシムヘカラス。

第三成算課

各府縣ノ經費及ヒ收入ノ勘定帳簿其他物  
品仕拂有高帳等ヲ分掌整理スルコトヲ掌ル  
本課ノ處務ヲ分テ十部トス

第一部

東京府 埼玉縣

熊谷縣 千葉縣

枳木縣 新治縣

茨城縣

該府該縣資用ノ金穀仕拂及收入金穀  
等一切ノ勘定簿冊其他物品有高帳等  
ヲ規則ニ照シテ精査勘算シ其經費勘  
定帳ノ如キハ金穀領受ノ際各廳ヨリ  
出納頭ニ差出タル請取證書ノ該數ヲ  
以元金ノ支給高ヲ了知シ調成ノ後決  
算濟ノ證書ヲ作り該廳ノ請取證書ト

ヲ保セテ第四課ニ送致ス

但収出勘定帳簿ヲ精調スルハ第二

部ヨリ十部ニ至ル迄其順序本條ニ

同シ故ニ以下每部ハ其廳名ヲ挙ク

ルノミ

第二部

神奈川縣 足柄縣

静岡縣 濱松縣

山梨縣 岐阜縣

第三部

筑摩縣 長野縣

新川縣 石川縣

相川縣 新潟縣

第四部

愛知縣 滋賀縣

敦賀縣 京都府

大坂府 奈良縣

大藏省

第五部

兵庫縣

飾磨縣

和歌山縣

度會縣

堺縣

三重縣

第六部

福島縣

磐前縣

水澤縣

岩手縣

宮城縣

若松縣

第七部

置賜縣

山形縣

酒田縣

秋田縣

青森縣

第八部

高知縣

名東縣

愛媛縣

濱田縣

豊岡縣

鳥取縣

島根縣

大藏省

大藏省

第九部

北條縣

岡山縣

小田縣

廣島縣

山口縣

小倉縣

大分縣

第十部

佐賀縣

白川縣

宮崎縣

鹿兒島縣

長崎縣

福岡縣

三潯縣

右各部分掌ノ事務ヲシテ彼是混淆セシムヘカラス

第四成算課

一切収入支出スル金穀ノ本末ト該數トヲ明ラカニシ以テ頭時収出スル處ノ金穀ハ各廳ヨリ送致スル簿冊ニ就テ決算ノ濟否ヲ判明ニシ督促追調スル等ノ事ヲ掌ル本課ノ處務ヲ分テ四部トス

第一部

一切收入スル全穀ハ租税寮其他ノ報告ニヨリ年度科目ヲ并理追調シ既ニ納入スル全穀領受ノ證書ヲ交付シ收入未済既済ノ計表ヲ製シ總テ收入全穀ニ関スルモノヲ調理スルヲ掌ル

第二部

一切支出スルノ全穀ハ出納寮ノ報告ト本寮ニ記存スル帳簿トニ因テ年度

No. 1

品種ヲ類別追調シ其既ニ支出スルノ全穀ハ各廳ノ精算簿冊ニ就テ決算ノ済否ヲ督シ決算完結ニ至ルモノハ決算済ノ證書ヲ交付シ否カレモノハ漸次之ヲ督促シ正算未済既済ノ計表ヲ製シ都テ一般支出全穀ノ本末ヲ明瞭ニスルヲ掌ル

但收入ト支出ト混同スヘカラサルヲ以テ第一第二ノ如ク提掌ノ部門ニ分ツトイハレ此兩部ニ於ル終始連

歳首



環當務又處弁セサルヘカラス  
出納寮勘定簿冊ニ添付シ来ル各廳  
請取證書ハ本課ノ勘合了テ官省ト府  
縣トヲ區分シ以テ第二三課ニ送致シ  
元金支給ノ多寡ヲ了知セシム

### 第三部

収入支出ノハキ金穀ノ訣數ヲ正算  
其年度ヲ明カニシテ甲部乙部或ハ準  
倫ノ收出ニ属スヘキモノヲ判明スル  
ヲ掌ル

### 第四部

凡收入租稅ヲ除ノ外支出ノハキ金穀ハ決  
議簿冊或ハ傳票達書ヲ送致スル下レ  
ハ其ノ額ト顛末ヲ日計簿ニ登記シ只  
證ノ印ヲ勘合シテ傳票掛ニ回致シ及  
傳票ニ付スルノ全負事款ハ各部門ヲ  
區別シテ日計簿ヨリ追算簿ニ登錄ス  
ルヲ掌ル

### 第五成算課

各課ニ於テ整理セシ收入支出ノ勘定簿冊

ヲ領收シ成算完結ノ精算表ヲ調理スルヲ  
堂

本課ノ處務ヲ分テ二部トス

第一部

收入金穀ノ成算完結ノ精算表ヲ調理  
スルヲ掌ル

第二部

支出金穀ノ成算完結ノ精算表ヲ調理  
スルヲ掌ル

改正掛

題

各廳ヨリ送呈スル歳入出決算表ヲ調査勘

算シテ内詳明細簿ヲ製シ而シテ一般公布

アル見込會計表ヲ根基トシ各廳ヨリ送致

スル比較表ヲ撰リ實際収出

調シテ歳入出決算明細簿ヲ其  
一内

順序及検査法改正ニ関スル事務ヲ擔

但方今此掛リヲ置クハ出納順序及検査

法改正順序創定ノ際百章着實精整ヲ要  
ルノ款ナルヲ以ノ故ニ此改

且キ該務ヲ掌管擔理セ

改正ノ順序一般慣熟百

改正掛リノ名義ヲ廢シ歳入

査ニ関スル事務ヲ擔理スル一課ヲ改

ス

右本寮處務ノ順序ハ大藏卿ノ判決ヲ待テ

ル處ニシテ寮中執務ノ憑進トス

尚スル所ノ條氣ニ至テハ各課反

詳カナレハ一筆毎件必々此順序ト條

シ能ク其ノ趣ヲ遵奉シテ苟クモ規程ヲ愆ル

勿レ

百四

